**brank / 鳃 / 「鰓(えら)」の簡体字であり、日本語話者にも“魚の呼吸器官”の字として比較的連想しやすい / 画数はやや多いが、えらを指す最も標準的な簡体字なので妥当と判断**

1. **skurĝ** / **鞭** / 「むち」を表す最も一般的な簡体字 / 画数は多めだが、他に適当な1文字がないため採用
2. **spad** / **剑** / 細身の剣を表す簡体字として一般的(繁体字「劍」) / 後述のrapirなどでも同字を使い回し可能で、学習コストの削減に有用
3. **kartoĉ** / **弹** / 「弾丸・弾薬」の意味を中心とした簡体字。カートリッジ(薬莢含む)を厳密に1文字で示すのは難しいが、ここでは弾薬のニュアンスを優先 / 新出だが比較的画数少なめ
4. **kiras** / **甲** / 「装甲」「甲冑」などの“甲”として、古くから“防護物”の意味を持つ / 画数が少なく汎用性もあるため、学習コストを抑えやすい
5. **ŝild** / **盾** / 「盾」を表す最も代表的な簡体字 / 「egid」と同じ字を再利用可能
6. **kron** / **冠** / 「かんむり(王冠を含む)」を指す簡体字としてシンプルで使いやすい / 画数は9画程度でそこそこだが、日中両語で意味が通じる
7. **tiar** / **冠** / ペルシャ風の王冠だが、厳密には単独漢字がないため「冠」を再利用 / kronと同字で区別は上付き文字などに委ね、学習コスト削減
8. **egid** / **盾** / 神話由来の特別な盾(アイギス)だが、汎用的な「盾」を再利用 / ŝildと同字で区別は上付き文字などで対応
9. **amulet** / **符** / 「護符・お守り」を指す字として簡潔 / talismanとも同字で区別し、学習コストを削減
10. **talisman** / **符** / 「呪符・護符」を意味する字として、amuletと共通の「符」を流用 / 1文字で済むため学習負荷を低減
11. **rapir** / **剑** / 細身の長剣(レイピア)だが、「spad」と同じ「剣」を再利用して区別は上付き文字などで行う / 同字の使い回しにより学習コストを抑制
12. **epolet** / **肩章** / 軍服の「肩章」を表す標準的な2文字熟語(「肩」+「章」) / 1文字化が難しく、やむなく2文字を提案
13. **bisturi** / **手术刀** / 中国語で「メス」を表す一般的な言い方(「手術用の刀」)。柳葉刀(柳叶刀)等もあるが、こちらの方が用途が広い / 「刀」は既出のglavと同字を再利用できるため、増える新字は「手」「术」のみ
14. **ponard** / **匕首** / 「短剣・短刀」を指す一般的な熟語。1文字「匕」では誤解されやすいため2文字に / 「匕」「首」は新出だが、短剣を1文字で表現する適切な選択が乏しい
15. **kling** / **刃** / 刀の“刃身”や切れ味部分を指すなら「刃」が最も直接的 / 画数も少なく、日本語との対応も比較的わかりやすい
16. **glav** / **刀** / 「刀・剣」全般のうち、片刃のものを中心に示す簡体字。「剣(剑)」と区別する場合に便利 / 2画と非常に少なく、学習しやすい
17. **nadl** / **针** / 「針」を指す簡体字(日本語の“針”にあたる) / 後述のpingl(ピン)とも同字再利用が可能
18. **alen** / **锥** / 「きり(錐)」「千枚通し」などを指す字。1文字で“突き針=錐”のイメージに近い / 画数はやや多いが、熟語よりはシンプル
19. **ung** / **爪** / 「爪」(動物のつめ・人の爪を含む)を表す基本字 / 4画と少なく、直感的に理解されやすい
20. **najl** / **钉** / 「釘」を指す簡体字(日本語「釘」の簡体形) / シンプルな金偏に「丁」で7画。比較的わかりやすい
21. **pingl** / **针** / 「ピン」を指す場合も、中国語では一般に“某種の～针”と呼ぶため「针」を再利用 / nadlとの共通字とし、学習コストを削減

**ŝraŭb / 螺丝 /**

* + **理由**: 現代中国語で「ねじ」を最も端的に表す一般的な表現。「螺」だけでも「らせん状のもの」を指せるが、「螺丝」のほうがネジのイメージを共有しやすい。
  + **学習コスト**: 2文字だが、中国語でも日常的によく使われる単語。「螺」はやや画数が多めだが、部首(虫)を含め学習する価値は高い。

1. **kejl / 楔 /**
   * **理由**: 楔(くさび)の意味を最も直接に表し、木釘・木製のくさびを連想しやすい。
   * **学習コスト**: 単一漢字で画数はやや多い(12画程度)が、「くさび」という概念を簡潔に示せる。
2. **martel / 锤 /**
   * **理由**: 中国語で「ハンマー」を指す代表的な簡体字。「锤子(榔头)」とも書けるが、1文字「锤」で十分通じる。
   * **学習コスト**: 画数はそこそこ(12～13画)あるが、「金属偏+垂」で構成されており、把握はしやすい。
3. **ĉan / 锤 /**
   * **理由**: 銃の「撃鉄」(ハンマー部分)に相当。本来は「扳机(トリガー)」や「枪机(銃機構)」など別表現もあるが、ここでは **(3)と同一字を再利用** することで学習する文字種を抑える。後で上付き文字等で区別予定。
   * **学習コスト**: (3)と同じ字を用いるため、学習済みの「锤」を活用できる。
4. **bajonet / 刺刀 /**
   * **理由**: 「銃剣」を表す中国語として最も一般的な表現。
   * **学習コスト**: 2文字だが日常語彙に近く、画数も比較的少ない(「刺」10画＋「刀」2画)。
5. **kugl / 弹 /**
   * **理由**: 「子弹(弾丸)」のうち、「弹」単体でも「弾丸」を指す場合が多い。
   * **学習コスト**: 1文字で済むが、発音・用法ともに範囲が広く(「跳ねる」「弾く」など)、覚えると応用範囲が広い。
6. **lanc / 枪 /**
   * **理由**: 「槍」を表す最も基本的な簡体字。
   * **学習コスト**: 画数は8画程度で比較的覚えやすく、他の武器関連語にも応用しやすい。
7. **arĉ / 弓 /**
   * **理由**: バイオリン弓など「弓状の道具」を表す際にも「弓」で理解されることが多い。
   * **学習コスト**: 画数4画と非常にシンプル。日本人にも「弓」で馴染みが深い。
8. **sag / 箭 /**
   * **理由**: 「矢」を表す標準的な簡体字。
   * **学習コスト**: 画数12画だが、他の武器関連(弓箭など)とあわせて覚えやすい。
9. **arbalest / 弩 /**

* **理由**: クロスボウ(大弓)を示す代表的かつ簡潔な1文字表記。
* **学習コスト**: 画数3画で非常に少なく、一度覚えれば強い印象を残しやすい(ただしややマイナー)。

1. **fork / 叉 /**

* **理由**: 「フォーク」を指す際、口語では「叉子」が一般的だが、1文字「叉」でも「分岐/差し込む道具」のイメージがある程度伝わる。
* **学習コスト**: 画数3画で極めてシンプル。日本語でも「叉」は「また」の意で通じやすい面がある。

1. **pugn / 拳 /**

* **理由**: 「こぶし」を直接表す代表的な漢字として「拳头」があるが、単独の「拳」でも同義で通じる。
* **学習コスト**: 10画ほどだが、武術などで日常的にも見かけるため認知されやすい。

1. **vip / 鞭 /**

* **理由**: 「鞭(むち)」を表す標準的な1文字。
* **学習コスト**: 画数は15画とやや多いが、意味が明確で重複しづらい単語。

1. **kegl / 瓶 /**

* **理由**: ボウリングのピン(スキットル)は形が瓶に似ており、中国語でも「球瓶」と呼ぶことがある。「瓶」1文字で“ピン(瓶状のもの)”を連想しやすい。
* **学習コスト**: 11画。日本語の「瓶(ビン)」と同じ形で馴染みがある。

1. **palis / 桩 /**

* **理由**: 「杭」「杭木」の意味として現代中国語では「桩(木桩)」が一般的。「杭」は地名的用法が主になっている。
* **学習コスト**: 10画。杭を意味する最適字として日中双方で比較的認知されやすい。

1. **timon / 舵杆 /**

* **理由**: 「かじ棒」「操縦用の棒」をイメージするために、「舵(舵・かじ)＋杆(棒)」で構成した熟語。単に「杆」だけでは意味が広すぎるため補足。
* **学習コスト**: 2文字だが、「杆」は他の語根(stangなど)でも棒状の意で流用可能。「舵」は画数多めだが“舵(かじ)”としても直感的。

1. **baston / 棒 /**

* **理由**: 「棒」を表す最も一般的な簡体字。
* **学習コスト**: 12画ほど。「棒球(野球)」などでも頻出し、日本人にもわかりやすい。

1. **stang / 杆 /**

* **理由**: 竿・棒・ポールの意を単純に表す簡体字。上記(timon)で使った「舵杆」の「杆」と同じ字を**再利用**。
* **学習コスト**: 7画と比較的シンプル。他の棒状の物の表現にも応用しやすい。

1. **kapon / 阉鸡 /**

* **理由**: 去勢した雄鶏は中文で「阉鸡(去勢鶏)」と呼ぶのが最もわかりやすい表現。
* **学習コスト**: 2文字で、それぞれの意味(阉=去勢, 鸡=鶏)が明確。

1. **pedel / 吏 /**

* **理由**: 「小役人」「下級官吏」をイメージしやすい漢字として古くからある「吏」を採用。中国語で「官吏」の文脈で使う字。
* **学習コスト**: 6画と比較的少なく、古典的な雰囲気だが「小役人」のニュアンスに近い。

1. **bub / 顽童 /**

* **理由**: 「いたずらっ子」「やんちゃな子供」を示す語として最も一般的な「顽童」を採用(「熊孩子」も口語的だが、やや俗)。
* **学習コスト**: 2文字だが、いずれも比較的よく使われる字。「顽」は頑固や“やんちゃ”の連想、「童」は子供。

1. **dand / 型男 /**

* **理由**: 「伊達男」「おしゃれな男性」を現代中国語で手短に表すなら「型男」が通俗的かつ分かりやすい(「花花公子」だと“プレイボーイ”寄り)。
* **学習コスト**: 2文字でいずれも頻出漢字。「型」は日本語でも「型(かた)」としてなじみが深い。

**rekt/angul##**

* + **提案**: 长方形
  + **選定理由**: 「rectangle(長方形)」の意味であれば、中国語の標準的な表現は「长方形」。
    - 辞書上で「直角(=right angle)」と混同されている可能性があるが、エスペラントで「rekta angulo」は「直角」を指す一方、「rektangulo」は「長方形」を意味するため、本来は「长方形」が正しい。
  + **学習コスト**: 「长」「方」「形」はそれぞれ他の用語(正方形/三角形など)にも登場しやすい部首・字形のため、使い回しに有利。

1. **romb**
   * **提案**: 菱形
   * **選定理由**: 中国語で「ひし形」「菱形」は標準的な表現。単字「菱」はやや専門的だが、幾何用語としては「菱形」が一般的。
   * **学習コスト**: 「菱」はやや画数が多めだが、菱形(ひし形)を明確に表す単語としては妥当。以降、同義語 lozanĝ にも流用可。
2. **lozanĝ**
   * **提案**: 菱形
   * **選定理由**: 「lozenge」「rhombus」はいずれも「ひし形」の意。前項と同じ幾何学的図形なので「菱形」を再利用。
   * **学習コスト**: 「romb」と同じ字を割り当てることで学習負担を削減。
3. **oval**
   * **提案**: 椭圆形
   * **選定理由**: 中国語で「卵形」「椭圆形」と表すが、幾何学(特に「楕円」)では「椭圆形」がポピュラー。
     + 日本語話者にとっては「卵形」のほうが直感的な場合もあるが、中国語では「椭圆形」が定着している。
   * **学習コスト**: 「椭」「圆」「形」のうち、「圆」「形」は他でも使い回し可能(円=circle, 形=形状全般)。ただ「椭」は新出で画数やや多め。
4. **konus**
   * **提案**: 圆锥
   * **選定理由**: 「円錐」は簡体字で「圆锥」。幾何学における標準的用語。
   * **学習コスト**: 「圆」は今後「円」「椭圆」などで再利用が見込める。「锥」は新しいが、他の図形用語とのバランスを考慮し、やむを得ない。
5. **kvadrat**
   * **提案**: 正方形
   * **選定理由**: 「正方形」は中国語で最も一般的な「square」。
   * **学習コスト**: 「正」「方」「形」はいずれも頻出。「长方形」「三角形」などの「方」「形」と共通化でき、漢字種をなるべく集約。
6. **kub**
   * **提案**: 立方体
   * **選定理由**: 「立方体」は「cube」の標準表現。
   * **学習コスト**: 「立」「方」「体」はともに常用。既出の「方」と組み合わせる形で、追加の学習負担も比較的少ない。
7. **tri/angul##**
   * **提案**: 三角形
   * **選定理由**: 「triangle=三角形」。日本語の「三角形」と同様、中国語でも「三角形」。
   * **学習コスト**: 「三」「角」「形」は非常に高頻度(数字・部首)で、他の図形用語(例えば「对角线」など)とも偏旁を共用しやすい。
8. **trapez**
   * **提案**: 梯形
   * **選定理由**: 幾何学における「台形」は中国語では「梯形」が最も標準的。
   * **学習コスト**: 「梯」はやや画数があるが、「形」は既出。
     + 日本語の「台形」とは異なる字面だが、中国語圏での一般用語を優先。
9. **parabol**
   * **提案**: 抛物线
   * **選定理由**: 「放物線」と表記されることもあるが、中国語一般には「抛物线」が定着。
   * **学習コスト**: 「线」はのちに「对角线」などでも登場。「抛」は新出だが、幾何学分野の標準用語。
10. **paralelogram**
    * **提案**: 平行四边形
    * **選定理由**: 「平行四辺形」は中国語で「平行四边形」が定番。
    * **学習コスト**: 「平」「行」「四」「边」「形」を組み合わせた熟語。すでに「形」「行」など一部既出。今後「四」を使う機会(例:四角形)もあり得る。
11. **paralel**
    * **提案**: 平行
    * **選定理由**: 幾何学で「平行線」などを示す際の基本単語。
    * **学習コスト**: 「平」「行」はどちらも常用で画数少なめ。
12. **diagonal**
    * **提案**: 对角线
    * **選定理由**: 幾何で「対角線」は中国語で「对角线」が一般的。
    * **学習コスト**: 「对」「角」「线」はいずれも既出・あるいは今後別単語で再利用が見込める(「三角形」「抛物线」など)。
13. **kalkul**
    * **提案**: 计算
    * **選定理由**: 「計算する」を意味する動詞として標準的。「数数」などもあるが、「计算」が最も汎用的。
    * **学習コスト**: 「计」「算」は後述の「算术」などとも重なるため、学習範囲を圧縮しやすい。
14. **aritmetik**
    * **提案**: 算术
    * **選定理由**: 「算数」「算術」の意に対応する中国語は「算术」。
    * **学習コスト**: 「算」は計算関連で既出、「术」は「艺术(芸術)」などでも見かける常用字。
15. **subtrah**
    * **提案**: 减法
    * **選定理由**: 「引き算する」→「減法」。単に「减」でも通じるが、加法/减法/乘法…と並べる形が分かりやすい。
    * **学習コスト**: 「减」は画数はややあるが、頻出。「法」は以下の「加法」「乘法」「三角法」などで重用する見込み。
16. **adici**
    * **提案**: 加法
    * **選定理由**: 「(を)足し算する」にあたる標準用語。
    * **学習コスト**: 「加」「法」はどちらもよく使う漢字で、減法/乘法と統一した表現。
17. **multiplik**
    * **提案**: 乘法
    * **選定理由**: 「掛け算(乗法)」には「乘法」が最適。
    * **学習コスト**: 「乘」は学校数学でも必ず登場し、常用。「法」は上記と同じ。
18. **simetri**
    * **提案**: 对称
    * **選定理由**: 「対称」を指す標準的な中国語。「對稱」の簡体字表記が「对称」。
    * **学習コスト**: 「对」は「对角线」「对数」と同じ要素。「称」は新出だが、一般語彙でも登場し得る。
19. **logaritm**
    * **提案**: 对数
    * **選定理由**: 「対数」は「对数」が通用表現。
    * **学習コスト**: 「对」はすでに「对称」「对角线」などで使用済み。「数」も「算数」「加法」等と同系統。
20. **trigonometri**
    * **提案**: 三角法
    * **選定理由**: 日本語「三角法」に相当する語。中国語では「三角学」「三角函数」なども多用されるが、ここでは日本語の「三角法」に近い字面を採用。
    * **学習コスト**: 「三角」は「三角形」と共通、「法」は「加法」「减法」「乘法」と統一感あり。
21. **matematik**
    * **提案**: 数学
    * **選定理由**: 「数学」は「数学」。もっとも一般的な対応語。
    * **学習コスト**: 「数」は「算术」「加法」等と関係し、同系統の漢字としてまとめやすい。

**algebr / 代数 / 中国語で「代数」はアルジェブラを指す標準用法 / 「代」(5画)と「数」(13画)はいずれも汎用性が高く、他の数学語でも再利用しやすい**

1. **teorem / 定理 / 中国語で「定理」は数学の定理を指す一般的な表記 / 「定」(8画)と「理」(11画)はいずれも常用字で、後々「理」を他でも活用可能**
2. **aksiom / 公理 / 中国語で「公理」は公理・公準を指す標準用法 / 「公」(4画)と「理」(既出)で構成され、学習コストは比較的低い**
3. **ekvaci / 方程 / 中国語では「方程」(または「方程式」)が方程式を指す / 「方」(4画)と「程」(12画)はいずれも常用字で、意味を把握しやすい**
4. **obl / 倍 / 倍数を意味する語として中国語でも「倍」を用いる / 1文字で「倍」とでき、画数(10画)も許容範囲。「倍数」として2字にしてもよいが、単字で十分通じる**
5. **poligon / 多边形 / 中国語で「多边形」はポリゴンを指す最も一般的な表現 / 「多」(6画)・「边」(5画)・「形」(3画)はいずれも基本的漢字で今後「多」「形」などは再利用可能**
6. **plural / 复数 / 文法上の「複数」を指す中国語表現として「复数」が広く用いられる（※数学の「複素数」と同字だが文脈で区別）/ 「复」(9画)と「数」(既出)の組合せで、既出の「数」を再利用**
7. **plur / 多 / 「複数の」「多い」を表す意味として、中国語の「多」を割り当て / 既に「多边形」で使用の「多」を再利用し、学習コストを抑えられる**
8. **plur / 多 / 同上（繰り返しのため同じ文字を再利用） / 既出のため追加コストなし**
9. **decimal / 十进制 / 中国語で十進法は「十进制」が一般的 / 「十」(2画)、「进」(7画)、「制」(8画)はいずれも頻出字のため、比較的再利用しやすい**
10. **on / 分 / 分数を示す接尾辞として「分」(わける意)を割り当て / 画数(4画)も少なく、ほかの「分数」関連でも再利用が容易**
11. **frakci / 分数 / 数学の「分数」を指す標準表記 / 既出の「分」＋「数」で構成、学習コストは追加なし**
12. **segment / 线段 / 数学用語として線分は中国語で「线段」が一般的 / 「线」(8画)と「段」(9画)はいずれも基本的常用字。後の「切线」(tangent)で「线」を再利用**
13. **tangent / 切线 / 数学の接線(正接)は中国語で「切线」が標準 / 既出の「线」＋新出の「切」(4画)で、文字数を抑えつつ意味を正確に伝えられる**
14. **kvadratur / 求积 / 「求積法」は中国語で「求积」と表すことが多い / 「求」(7画)と「积」(10画)はいずれも常用度が高く、他の積分などの表現にも転用可**
15. **racional / 有理数 / 有理数を指す中国語表現は「有理数」が一般的 / 既出の「理」(定理)・「数」(代数)に「有」(6画)を加えるのみ**
16. **kvocient / 商 / 商(quotient)は単字でも中国語の数学用語として定着 / 画数(11画)はやや多めだが常用字であり意味がはっきり伝わる**
17. **koeficient / 系数 / 係数は中国語で「系数」を用いる / 既出の「数」に「系」(7画)を加えるだけなので比較的学習コストは低い**
18. **renesanc / 文艺复兴 / ルネサンスに相当する歴史用語で中国語では「文艺复兴」が定着 / 「文」(4画)、「艺」(4画)、「复」(既出)、「兴」(6画)で構成**
19. **reformaci / 宗教改革 / 宗教改革は中国語で「宗教改革」が一般的 / 「宗」(8画)、「教」(8画)、「改」(7画)、「革」(9画)はいずれも常用度が高い**
20. **krist / 基督 / キリストは中国語で「基督」が定着 / 「基」(11画)と「督」(13画)はいずれも聖書関連用語で頻出**
21. **jesu / 耶稣 / イエスは中国語で「耶稣」が一般的 / 「耶」(7画)と「稣」(14画)はいずれもキリスト教関連文脈で必須**

**jezuit / 耶稣会 / イエズス会(ジェズイット)の標準的な中国語名称 / 「耶」「稣」「会」は日中ともに認知度が高く、他宗教用語にも応用しやすい**

1. **bibli / 圣经 / 聖書を指す標準訳 / 「圣」「经」はいずれも頻出かつ他宗教用語にも流用可能なため学習コストを抑えられる**
2. **evangeli / 福音 / 福音書など「福音」を指す最も一般的な語 / 「福」「音」は画数はやや多めだが非常に頻出で、他の宗教関連語にも流用可**
3. **eklezi / 教会 / 宗教団体(キリスト教会)を指す最も一般的な語 / 「教」「会」は日常語としても頻用され、他の宗教語にも展開しやすい**
4. **sinagog / 犹太教堂 / ユダヤ教の礼拝施設を指す標準的表現 / 「犹」「太」「教」「堂」で構成されるが、いずれも比較的基本的な文字**
5. **kongregaci / 会众 / 宗教集会や信徒共同体を示す際に用いられる語の1つ / 「会」は既出、「众」も頻出字であり学習コストを抑制**
6. **religi / 宗教 / 「宗教」を表す最も基本的な語 / 「宗」「教」は双方とも汎用性が高く、本リストで何度も使用**
7. **sekt / 教派 / 宗派を意味する代表的表現 / 「教」「派」はともに日常語・宗教語両面で使われるため流用性が高い**
8. **paroĥ / 教区 / カトリックなどの教区を指す標準訳 / 「教」「区」は画数が比較的少なく、ほかの宗教用語とも組み合わせ可能**
9. **parok / 教区 / 9番と同義のため同じ表現に統一 / 重複割当で学習コストを下げられる**
10. **monoteism / 一神教 / 一神論・一神教を意味する標準的表現 / 「一」「神」「教」はいずれも基本字で、再利用性が高い**
11. **politeism / 多神教 / 多神教を意味する標準的表現 / 「多」「神」「教」は11番の文字と多くを共有し、負担が軽い**
12. **katolik / 天主教 / カトリックを指す一般的名称 / 「天」「主」「教」は基礎的な漢字で、他の語への転用可能性もあり**
13. **puritan / 清教徒 / ピューリタンを指す標準的訳 / 「清」「教」「徒」は画数はそれなりだが日常語にも登場しやすい**
14. **pilgrim / 朝圣 / 「巡礼する」「聖地に参る」を意味する一般訳 / 「朝」「圣」はやや画数が多いが、どちらも高頻度字**
15. **preĝ / 祈祷 / 「祈る」「祈り」を意味する際の標準表現 / 「祈」「祷」は組み合わせでよく用いられ、他の宗教用語とも親和性あり**
16. **kult / 礼拜 / 礼拝・崇拝など宗教的礼拝を指す語のひとつ / 「礼」「拜」は週ごとの礼拝や尊敬の意を表す際にも使われる**
17. **liturgi / 礼仪 / 礼拝式・典礼などを指す語 / 「礼」「仪」は儀式全般で使用され、他領域でも頻出(例: 仪式)のため学習しやすい**
18. **orden / 勋章 / 「勲章」や「勲功のある章」を意味する代表的表現 / 「勋」「章」はやや画数は多いが他の勲章・記章関係で広く使われる**
19. **bapt / 洗礼 / バプテスマ・洗礼を意味する最も一般的な語 / 「洗」「礼」は画数が少なく、宗教儀礼や日常的語彙(洗, 礼節)とも関連**
20. **konsekr / 祝圣 / 聖別・奉献・聖別の儀式に相当 / 「祝」「圣」は他でも「祝福」「圣经」などと組み合わせが可能**
21. **anunciaci / 天使报喜 / カトリックで「受胎告知」を指す代表的表現 / 「天」「使」「报」「喜」はいずれも比較的常用される字**
22. **epifani** / **主显节** / 「主显节」はエピファニー(公現祭)の中国語呼称 / 「主(主)・显(顯)・节(節)」はいずれも比較的使用頻度が高く、今後他の宗教用語とも組み合わせしやすい
23. **pentekost** / **圣灵降临节** / 五旬節(ペンテコステ)の中国語表現として定着 / 「圣(聖)・灵(靈)・降・临(臨)・节(節)」はいずれも宗教文脈で再利用しやすく、とくに「圣」「灵」「节」は他の語根にも転用しやすい
24. **pask** / **复活节** / 復活祭(イースター)の中国語表現として定着 / 「复(復)・活・节(節)」は画数も比較的少なめで、他の熟語(例: 复仇)とも組み合わせ可能
25. **advent** / **将临期** / 降臨節(アドベント)を指す中国語の一般的呼称 / 「将・临(臨)・期」はいずれも常用字で、「临」はpentekost(圣灵降临节)の「降临」とも一部重複し学習コストを抑えられる
26. **kruc** / **十字架** / 十字架そのものを指す標準的な語 / 「十・字・架」はいずれも日中両言語で認識されやすく、比較的頻度の高い部首・偏旁を含む
27. **krucifiks** / **十字架像** / キリストの受難像を伴う「十字架像」 / 「十字架」に「像」を加えるだけなので新出漢字が「像」のみで済み、既存要素を最大限流用
28. **hosti** / **圣饼** / 聖餐で用いるパン(ホスチア)を指し、「聖なるパン」の意 / すでに登場している「圣(聖)」を再利用し、新出「饼(餅)」のみ導入
29. **komuni** / **圣餐** / 「聖餐式」を指す簡潔な表現 / すでに用いた「圣」を再利用し、新出「餐」で意味を補足
30. **eŭkaristi** / **圣体** / 「(カトリックでの)聖体」を指す簡潔な呼称 / こちらも「圣」を再利用し、新出は「体」のみ
31. **kobold** / **精灵** / (いたずら好きの)小妖精を広義の「精灵(精霊/妖精/ゴブリン等)」で集約 / 「精・灵」の2字で汎用性の高い“霊的存在”をカバーし、他の同種語根にも転用可能
32. **gnom** / **精灵** / [神]地の精(ノーム)も広義の「精灵」として扱う / kobold と同様に「精灵」で集約し、区別は上付き文字等で行う前提
33. **anĝel** / **天使** / 「天使」の中国語表現として最も一般的 / 新出の「天・使」だが、いずれも日中で認知度が高く(天国、使用など)、派生語も作りやすい
34. **elf** / **精灵** / 西洋ファンタジーのエルフも「精灵」の一種として表現 / kobold, gnom 等と同様、まとめて「精灵」で学習コスト削減
35. **fe** / **精灵** / 妖精・仙女的な存在も「精灵」に集約 / 用途が幅広い概念を1~2文字に統合し、後で上付き注などで区別
36. **monstr** / **怪物** / 一般的な「怪物」の表記 / 「怪・物」はいずれも日常使用が比較的多く、学習優先度も高い
37. **fantom** / **幽灵** / 幽霊、亡霊などを表す標準的呼称 / すでに使用中の「灵(靈)」を再利用し、新出「幽」のみを導入
38. **diabl** / **恶魔** / 悪魔(特にDevil=サタンなど)を指す際に使われることが多い / 「恶(惡)・魔」は画数はやや多いが他の派生語(恶灵など)にも流用可能
39. **demon** / **恶灵** / devil(=恶魔)と差別化して「悪の霊的存在」を表す / 「恶・灵」いずれも既出の組合せで学習コストを抑える
40. **furi** / **复仇女神** / 復讐の三女神(Furies)を示す簡潔な呼称 / 「复(復)」はpask(复活节)で登場済み、新出は「仇・女・神」の3字
41. **paradiz** / **天国** / [宗]天国・楽園の意味合いとして頻用 / anĝel(天使)ですでに登場の「天」を再利用、新出「国」は高頻度字
42. **eden** / **伊甸园** / エデンの園を指す最も一般的な表記 / 新出の「伊・甸・园(園)」を導入(聖書関連で他箇所でも登場しうる)
43. **sankt** / **圣** / 「聖なる」「神聖」の意味を表す最短の1文字 / 既に複数単語(圣饼、圣餐等)で登場しており、学習済みの再利用
44. **di**
    * **提案:** 神
    * **理由:** 中国語では「神」は一般的に「神々」を指す語として広く使われ、日本語でも意味が直感しやすい。
    * **学習コスト:** 画数は9画程度だが、宗教関連で汎用性が高く、再利用価値も大きい。
45. **Di##**
    * **提案:** 神
    * **理由:** 唯一神を表す場合でも「神」とし、将来的に上付き文字などで区別する想定。単一漢字に統一することで文字種を節約。
    * **学習コスト:** 上記(1)と同じく「神」を再利用するため、新規学習負担は発生しない。
46. **diakon**
    * **提案:** 执事
    * **理由:** カトリック教会等で「助祭」に相当する中国語訳としては「执事」が広く使われる。
    * **学習コスト:** 新規漢字は「执(6画)」「事(8画)」の2つ。いずれも頻出度が高く、後続でも転用可能。
47. **orakol**
    * **提案:** 神谕
    * **理由:** 中国語で「神谕」は「神の託宣・神託」を意味する標準的な表現。日本語話者にも「神+言葉(お告げ)」と連想しやすい。
    * **学習コスト:** 「神」は再利用。「谕」はやや画数が多め(※部首「讠」+「予」)だが、他の“お告げ”系語根で流用できる可能性あり。
48. **providenc**
    * **提案:** 天意
    * **理由:** 中国語では「天意」が「神の摂理」「天の思し召し」を意味する常用表現。日本語でも「天+意」で「天の御心」と類推しやすい。
    * **学習コスト:** 新規は「天(4画)」「意(13画)」。いずれも非常に使用頻度が高いため学習効果は高い。
49. **altar**
    * **提案:** 祭坛
    * **理由:** 中国語で祭壇は「祭坛」が標準的。日本語の「祭壇」と近く、意味を直感しやすい。
    * **学習コスト:** 新規「祭(※8〜11画前後)」「坛(7画)」。宗教儀式の文脈で「祭」は再利用の可能性あり。
50. **maŭzole**
    * **提案:** 陵
    * **理由:** 中国語で「陵」は大規模または皇帝等の「陵(大きな墓所/霊廟)」を指す。日本語でも「○○陵」という言い方があり連想しやすい。
    * **学習コスト:** 「陵」は新規(11画程度)。他での流用頻度はあまり高くないが、単字なので熟語よりは負担が低め。
51. **pagod**
    * **提案:** 塔
    * **理由:** 「塔」は中国語で「仏塔」や一般の「塔状建築」を指す常用字。日本語でも「塔」で意味を直感しやすい。
    * **学習コスト:** 新規「塔(12画前後)」のみ。単一字でわかりやすいが、画数はやや多め。
52. **katedral**
    * **提案:** 大教堂
    * **理由:** 中国語の「大教堂」はカテドラル(大聖堂)を指す最も一般的な表現。日本語の「大聖堂」に近いイメージ。
    * **学習コスト:** 新規としては「大(3画)」「教(10〜11画)」「堂(11画)」。うち「教」「堂」は宗教施設関連で他にも再利用可能。
53. **moske**

* **提案:** 清真寺
* **理由:** 中国語でモスクは「清真寺」が標準。日本語でも「清真(＝イスラム)＋寺」と捉えれば直感しやすい。
* **学習コスト:** 「清(11画)」「真(10画)」「寺(6画)」。やや多いが、いずれも高頻度の常用字。

1. **templ**

* **提案:** 寺
* **理由:** 仏教寺院含む「寺院」の意味として、中国語でも単に「寺」で通じる場合が多い(文脈により「寺庙」も可)。
* **学習コスト:** 「寺」は(10) で既出。追加学習負担なし。

1. **kript**

* **提案:** 地下圣堂
* **理由:** 宗教施設としての「地下聖堂」を表現するには「地下圣堂」が最もわかりやすい。
* **学習コスト:** 新規は「地(3画)」「下(3画)」「圣(5画)」。最後の「堂」は(9) で既出。いずれも比較的基本的な字。

1. **sakristi**

* **提案:** 圣器室
* **理由:** サクリスティ(聖具室・聖器室)は中国語で「圣器室」が通例(「祭衣间」など別訳も存在)。
* **学習コスト:** 「圣」は(12)で既出。「器(15画)」「室(9画)」は新規だが、どちらも一般語彙としての頻度はそこそこある。

1. **sakrament**

* **提案:** 圣事
* **理由:** カトリック教会の秘跡(サクラメント)は中国語で「圣事」と呼ばれることが多い(「聖礼」とする例もある)。
* **学習コスト:** 「圣」は既出。「事」は(3)「执事」で既出。追加学習なし。

1. **kapucen**

* **提案:** 嘉布遣
* **理由:** カプチン会は正式名「嘉布遣方济各会」などと表記される。簡略して「嘉布遣」として示唆。
* **学習コスト:** 「嘉(14画)」「布(5画)」「遣(12画)」はいずれも新規。画数が多いが固有名詞ゆえ、割り当てざるを得ない場合の一例。

1. **legat**

* **提案:** 教皇使
* **理由:** 本来は「教皇特使(教皇の特別使節)」が正式だが、文字数削減のため「教皇使」と簡略化。
* **学習コスト:** 「教」は(9)で既出。「皇(9画)」「使(8画)」が新規。「皇」は他の「皇帝」「教皇」等でも応用可能。「使」も「大使」などで転用可。

1. **nunci**

* **提案:** 教廷大使
* **理由:** 教皇大使(=大使級)を示す標準的な言い方は「教廷大使」。公使よりも上位の大使ランクを想起しやすい。
* **学習コスト:** 「教」「大」「使」は既出(16,9)。新規は「廷(7画)」のみ。

1. **kancelier**

* **提案:** 大法官
* **理由:** 中国語で「大法官」は「大法院長」や「最高位の法官(Chancellor)」を指し、直訳的にも妥当。
* **学習コスト:** 「大」は既出。「法(8画)」「官(8画)」が新規だが、いずれも非常に高頻度の常用字。

1. **kardinal**

* **提案:** 红衣主教
* **理由:** カトリックの枢機卿は中国語で「红衣主教」と呼ばれるのが定着。赤衣の主教という直訳的表現。
* **学習コスト:** 新規は「红(6画)」「衣(6画)」「主(5画)」。ただし「主」は神(主)を表す場合にも応用可能。

1. **kanonik**

* **提案:** 教会参事
* **理由:** 教会参事会員(カノン)をイメージするには「教会参事」が比較的分かりやすい(「座堂参事」などもあり)。
* **学習コスト:** 「教」は既出。「会(6画)」「参(8画)」が新規。「事」は(3)ですでに登場済み。

1. **prior**

* **提案:** 小院长
* **理由:** 小修道院長(プライオル)を直訳気味に簡略化。「小+院长」で“大修道院長(=修道院長, abato)”との差を示唆。
* **学習コスト:** 新規は「小(3画)」「院(9画)」「长(4画)」。いずれも一般単語で、他の“～院长”構成に転用可能。

1. **abat**

* **提案:** 修道院长
* **理由:** 修道院長(アバト)の中国語定訳。
* **学習コスト:** 「院」「长」は(21)と同じ。「修(9画)」「道(12画)」が新規。ともに宗教関連や一般用法(“修理”“道理”など)で応用余地あり。

1. **vikari**
   * **提案:** 副牧
   * **理由:** 「副」は「副～（副代表・副市長など）」のように「助任・副～」の意味があり、「牧」は「牧师（牧師）」で聖職を担うことを示唆できるため。「助任司祭」をイメージしやすい。
   * **学習コスト:** 「副」「牧」いずれも比較的基本的な漢字であり、後述の「牧师」とも「牧」を共有できるため、重複利用による学習コスト削減が期待できる。
2. **apostol**
   * **提案:** 使徒
   * **理由:** 中国語でも「使徒（shǐtú）」は Apostol（Apostle）に相当する既存用語。日本語の「使徒」とも一致し、意味が把握しやすい。
   * **学習コスト:** どちらの漢字も頻出度が高く、聖書関連で広く知られる表現なので比較的覚えやすい。
3. **episkop**
   * **提案:** 主教
   * **理由:** 中国語で「主教（zhǔjiào）」はカトリックなどの「司教・ビショップ」に対応する定訳。「episkop → bishop」の連想がしやすい。
   * **学習コスト:** 「主」「教」はすでに非常に基本的な漢字。宗教用語としても定着しており、日本語話者も「主=しゅ」「教=きょう」と推測しやすい。
4. **sacerdot**
   * **提案:** 神父
   * **理由:** 中国語のカトリック神職を指す標準的な呼称が「神父（shénfù）」。日本語でも「しんぷ」と読み、カトリックの司祭を連想しやすい。
   * **学習コスト:** 「神」「父」はいずれも非常に基本的な漢字。意味も把握しやすい。
5. **pastr**
   * **提案:** 牧师
   * **理由:** 中国語で一般的にプロテスタントなどの「牧師」を指す用語。「牧」は“羊を導く”意味から転じて聖職者を表すことが多い。
   * **学習コスト:** 「牧」「师」はいずれも広く使われる漢字。「师」は「老師」「師匠」などとも関連し、他用途にも転用しやすい。
6. **monaĥ**
   * **提案:** 修道士
   * **理由:** キリスト教の修道会所属の男子修道者を指す語として、中国語では「修道士（xiūdàoshì）」が分かりやすい。日本語でも同形なのでイメージを共有しやすい。
   * **学習コスト:** 「修」「道」「士」は汎用性のある漢字。「道」は後述の「伝道」「传道」にも登場し得るため、学習コストが下がる。
7. **monak**
   * **提案:** 修道士
   * **理由:** リスト上では「monaĥ」と同様に「修道士」として示されているため、同じ割当を提案。「Monaco」に関連する語根の可能性もあるが、ここでは宗教文脈に合わせて同じ対応とした。
   * **学習コスト:** 6番と同一割当のため、追加の学習負担は発生しない。
8. **novic**
   * **提案:** 见习
   * **理由:** 修練期中の「修練士・ノビス」をイメージする場合、中国語では「见习（見習い）」が「初心者・見習い」の意味を持ち、分かりやすい。
   * **学習コスト:** 「见（見）」「习（習）」はいずれも初級学習で扱われる基本漢字の簡体。単語としても汎用的に使われる。
9. **katekist**
   * **提案:** 传道
   * **理由:** 「伝道師」「伝教師」に近い役割。中国語では「传道（chuándào）」「传道员」などの形が一般的。ここでは文字数を抑えた「传道」を採用。
   * **学習コスト:** 「传」「道」は基本的な漢字で、他の宗教用語（修道士など）とも「道」を共有できる。
10. **kateĥist**

* **提案:** 传道
* **理由:** 「katekist」と実質同義・同由来。「要理教師」に相当するが、簡潔に「传道」に揃えて学習負担を減らす。
* **学習コスト:** 9番と同一。重複活用で学習負担を下げられる。

1. **urin**

* **提案:** 尿
* **理由:** 「尿（にょう）」は単独で「尿（niào）」と読み、排尿に関連する語として分かりやすい。
* **学習コスト:** 1文字で非常にシンプルかつ頻出度も高い。

1. **sekreci**

* **提案:** 分泌
* **理由:** 中国語で「分泌（fēnbì）」は「セクレチィ」の語感にも近く、分泌物を指す際に自然な用語。
* **学習コスト:** 「分」「泌」は比較的よく出る漢字（「泌尿科」など）。2文字だが認知度が高い組み合わせ。

1. **ekskrement**

* **提案:** 粪便
* **理由:** 中国語では「粪便（fènbiàn）」が標準的。「屎」は口語寄り、「粪」単独は肥料的ニュアンスもあるため、より医学・衛生的に「粪便」を採用。
* **学習コスト:** 医学・日常文脈でも登場。やや専門的だが2文字に収まり、常用範囲。

1. **sang**

* **提案:** 血
* **理由:** 「血（xuè/xuě）」は「血液」や「血統」のイメージも含み、最も直接的な表現。
* **学習コスト:** 1文字で非常に基本度が高い。

1. **sperm**

* **提案:** 精液
* **理由:** 「精液（jīngyè）」は医学的に「semen」を表す標準語。英語の“sperm”は「精子」とも訳せるが、日本語の「精液」に合わせるなら「精液」が適切。
* **学習コスト:** 「精」「液」はどちらも常用度が高い漢字。

1. **uter**

* **提案:** 子宫
* **理由:** 中国語で子宮は「子宫（zǐgōng）」が定訳。日本語の「子宮」と漢字がほぼ同形でわかりやすい。
* **学習コスト:** 2文字だが基本的。日常・医療分野でも頻出。

1. **testik**

* **提案:** 睾丸
* **理由:** 中国語で「睾丸（gāowán）」が標準的。日本語でも「睾丸」で意味が通じる。
* **学習コスト:** 医学用語としては一般的。「睾」「丸」どちらも比較的よく見かける字。

1. **ren**

* **提案:** 肾
* **理由:** 簡体字では「腎」が「肾」に簡略化されており、腎臓を指す最も直接的な単字。
* **学習コスト:** 単独1文字で「腎臓」を表し、覚えやすい。

1. **hepat**

* **提案:** 肝
* **理由:** 肝臓は「肝（gān）」で通じる（“肝脏”という2文字表記もあるが、1文字なら「肝」の方が直感的）。
* **学習コスト:** 1文字で非常に基本的。

1. **gal**

* **提案:** 胆汁
* **理由:** 「胆汁（dǎnzhī）」は医学的に「bile」に相当する既存用語。「胆」1文字だと「胆のう/度胸」のイメージが強まるため「汁」を付す。
* **学習コスト:** 画数は多くないが2文字表記。どちらも常用漢字で、学習は容易。

1. **lien**

* **提案:** 脾脏
* **理由:** 中国語では「脾脏（pí zàng）」が脾臓を指す標準形。1文字「脾」だけだと「脾气（気質）」の連想が強いため、臓器名としては「脾脏」が自然。
* **学習コスト:** やや専門的だが、医学用語としては標準。2文字構成も許容範囲。

1. **peritone**

* **提案:** 腹膜
* **理由:** 中国語で「腹膜（fùmó）」が定訳。日本語でも同じ漢字を用い、医学用語として共通理解しやすい。
* **学習コスト:** 「腹」「膜」は医療用語で頻出。常用漢字であり画数もほどほど。

1. **ezofag / 食管 / 「食道」と並ぶ標準的呼称だが、中国大陸では「食管」が一般的 / 「食」「管」は他の語根(気管、支气管など)でも登場するため再利用しやすい**
2. **intest / 肠 / 腸の簡体字であり標準的 / 画数少なく日本人にも意味が推測しやすい**
3. **ventr / 腹 / 「腹」は日本語・中国語どちらでも“おなか”や“腹部”を示す / 文字数が1文字で済み、再利用もしやすい**
4. **stomak / 胃 / 日本語・中国語で同形・同義 / 画数少なく分かりやすい**
5. **pulm / 肺 / 日本語・中国語で同形・同義 / 画数少なく分かりやすい**
6. **traĥe / 气管(气管) / 「気管」の簡体字 / 「食管」などと同じ「管」を使うことで漢字の再利用が可能**
7. **bronk / 支气管 / 中国語で“気管支”をそのまま表す / 「支」「气」「管」は汎用性が高い**
8. **vejn / 静脉 / 標準的に「静脈」を表す簡体字 / 「脉」は「动脉」「血脉」などでも用いられる**
9. **arteri / 动脉 / 「動脈」の簡体字 / 「动」「脉」はともに頻出偏旁を含み、学習しやすい**
10. **aort / 主动脉 / 中国語医学用語として標準的 / 「主」「动」「脉」の組合せであり、新規漢字は「主」のみ**
11. **difteri / 白喉 / ジフテリアの代表的中国語名 / 「白」「喉」は比較的よく使われる**
12. **difterit / 白喉 / 上記と同一疾患由来の語根なので同じ表記を再利用 / 学習負担が増えない**
13. **erizipel / 丹毒 / 中国語でも「丹毒」と呼称 / 新出漢字は「丹」「毒」だが「毒」は汎用頻度が高い**
14. **tif / 斑疹伤寒 / チフス(発疹チフス)の標準的中国語名 / やや画数は多いが医学的に定着している**
15. **sifilis / 梅毒 / 中国語・日本語ともに同じ表記 / 「梅」「毒」はいずれも比較的認知度が高い**
16. **hidrofobi / 恐水病 / 狂犬病の症状(恐水症)を示す語として中国語にも用例あり / 「恐」「水」「病」はいずれも基本的な漢字**
17. **hipertrofi / 肥大 / 医学的に「肥大」で通じる / 「肥」「大」は画数も比較的少ない**
18. **katarakt / 白内障 / 中国語でも同じ表記 / 「白」「内」「障」は他単語にも組み合わさる可能性がある**
19. **diabet / 糖尿病 / 標準的表記 / 「糖」「尿」「病」は医療分野で頻出語**
20. **plik / 纠发病 / 「糾髪病」の簡体字化（完全な定訳ではないが意味は伝わる） / 「纠」「发」「病」はそれぞれ頻用度が高い**
21. **kal / 老茧 / 「たこ・胼胝」に相当 / 口語的に広く通じるため「老」「茧」は学習コストが比較的許容範囲**
22. **fav / 黄癣 / 「黄癬」の簡体字表記 / やや画数は多いが医学で定着している**
23. **skrofol**
    * **提案漢字**: 瘰疬
    * **選定理由**: 「瘰疬(瘰癧)」は古くからリンパ節結核(るいれき)を指す標準的な医学用語。
    * **学習コスト**: 「瘰」「疬」ともに画数は多め・頻度も低いが、他に該当しやすい短い単語が存在しないため妥当と判断。
24. **skabi**
    * **提案漢字**: 疥疮
    * **選定理由**: 中国語で「疥疮」は「かいせん(scabies)」を指す最も一般的な名称。
    * **学習コスト**: 「疥」「疮」はともに「疒」を含み、他の病名にも登場しやすい偏旁の再利用につながる。
25. **furunk**
    * **提案漢字**: 疔
    * **選定理由**: 「疔(ちょう)」は boil/furuncle(できもの) を指す単字表現の一つ。
    * **学習コスト**: 「疔」も「疒」偏旁で統一されており、他の用語と共通するため負担を抑えやすい。
26. **pips**
    * **提案漢字**: 未対応
    * **選定理由**: 鳥の舌病(=pip)に対応する簡単で一般的な単字や熟語は見当たらず、標準的な医学用語もほぼ専門辞書レベル。
    * **学習コスト**: 無理に造語しても極めて頻度が低いため未対応とする。
27. **tuberkul**
    * **提案漢字**: 结节
    * **選定理由**: 「结节」は医学的に「結節(tubercle)」を指す基本語。
    * **学習コスト**: 「结」「节」ともに汎用漢字で、日本人にも「結節」の形である程度なじみがある。
28. **fistul**
    * **提案漢字**: 瘘
    * **選定理由**: 「瘘(瘻)」は「瘘管(瘻孔)」の略で fistula を意味する医学用語。
    * **学習コスト**: 字形はやや複雑だが、1字で「瘻孔」を表せるため短縮度は高い。
29. **pustul**
    * **提案漢字**: 脓包
    * **選定理由**: 「脓包」は「膿疱(pustule)」に相当する一般的表現。簡体字では「脓包」と書かれることが多い。
    * **学習コスト**: 「脓」はやや画数多めだが、「包」は画数が少なく理解しやすい。
30. **tetan**
    * **提案漢字**: 破伤风
    * **選定理由**: 中国語で「破伤风」は破傷風(tetanus)の標準的名称。
    * **学習コスト**: 三文字だが日本語「破傷風」と同系で、比較的わかりやすい。
31. **katalepsi**
    * **提案漢字**: 僵直
    * **選定理由**: 「カタレプシー(強硬症)」を簡潔に示す場合、「僵直(硬直)」がもっとも近い短い表現。
    * **学習コスト**: 「僵」はやや画数が多いが、「直」は画数少なめ。2字で簡潔。
32. **herni**
    * **提案漢字**: 疝气
    * **選定理由**: 「疝気(ヘルニア)」は医学・日常ともによく使われる名称。
    * **学習コスト**: 「疝」は前出の「疒」偏旁を再利用。「气」も基本字で比較的学習しやすい。
33. **ŝankr**
    * **提案漢字**: 下疳
    * **選定理由**: 「chancre(下疳)」は古くから性病関連で用いられる定型表現。
    * **学習コスト**: 「下」「疳」は画数少なめで、「疳」も「疒」の再利用。
34. **ulcer**
    * **提案漢字**: 溃疡
    * **選定理由**: 「溃疡」は「潰瘍(ulcer)」の簡体字表現。
    * **学習コスト**: 「疡」は「疒」＋「央」の形で他の病名との偏旁共通がある。
35. **kolik**
    * **提案漢字**: 绞痛
    * **選定理由**: 「绞痛」は「激しい差し込むような腹痛(疝痛)」を広く指す表現で、colicに相当。
    * **学習コスト**: いずれも常用字であり、比較的短い熟語。
36. **piroz**
    * **提案漢字**: 烧心
    * **選定理由**: 「胸焼け」「胃灼熱」に近い日常的表現として「烧心(焼心)」が簡便。
    * **学習コスト**: 「烧」は「火」偏、画数やや多めだが「心」は少ないため2字でシンプル。
37. **angin**
    * **提案漢字**: 咽峡炎
    * **選定理由**: 「アンギナ(扁桃周囲炎/口峡炎など)」に相当する中国語の代表的呼称。「咽峡炎」は医学文献でも通用。
    * **学習コスト**: 3文字だが、それぞれ比較的よく見る構成。日本語の「咽頭」「峡」「炎」と対応し意味を推測しやすい。
38. **febr**
    * **提案漢字**: 发烧
    * **選定理由**: 「热」単体よりも「发烧(発熱)」が「熱が出る」ことを表す一般的かつ自然な表現。
    * **学習コスト**: 「发」は筆画少なめ(簡体字)、「烧」も既出(14. piroz)。
39. **inflam**
    * **提案漢字**: 炎症
    * **選定理由**: 「炎症(inflammation)」の直訳。日本語・中国語ともに対応し意味を取りやすい。
    * **学習コスト**: 「炎」は画数8、「症」はやや多め(10)だが、医学用の頻出単語。
40. **epidemi**
    * **提案漢字**: 流行病
    * **選定理由**: 「疫病」「瘟疫」よりも「流行病」の方が日本語圏にも通じやすい“epidemic”の訳語。
    * **学習コスト**: 3文字だが日常用の漢字で構成されるため比較的学びやすい。
41. **mal/varm/um##** (風邪)
    * **提案漢字**: 伤风
    * **選定理由**: 「感冒」「伤风」はいずれも“風邪”を指すが、画数少ない「伤风」を採用。
    * **学習コスト**: 「伤」(6画)と「风」(4画)で合計10画と短く、再利用可能性も高い。
42. **grip**
    * **提案漢字**: 流感
    * **選定理由**: “インフルエンザ”に対する中国語の略称で「流行性感冒」の略。
    * **学習コスト**: 「流」(10画)「感」(14画)よりは少なくはないが、2文字で比較的把握しやすい。
43. **ekzem**
    * **提案漢字**: 湿疹
    * **選定理由**: “湿疹(eczema)”の簡体字表現。日本語でも同じ漢字を用いる。
    * **学習コスト**: 「疹」は「疒」偏旁、既出と組み合わせやすい。
44. **podagr**
    * **提案漢字**: 痛风
    * **選定理由**: “痛風(gout)”に対応する中国語表記が「痛风」。「風」と共通で覚えやすい。
    * **学習コスト**: 「痛」(12画)「风」(4画)で合計16画。頻度は高め。
45. **disenteri**
    * **提案:** 赤痢
    * **理由:** 日本語では「赤痢」として定着。中国語でも「赤痢菌(しぎりきん)」という表現があり、一定の理解は得られる。
    * **学習コスト:** 「赤」と「痢」は、いずれも他の語にも応用しやすい常用漢字。日本語・中国語双方で意味を類推しやすい。
46. **morbil**
    * **提案:** 麻疹
    * **理由:** 中国語「麻疹」、日本語も「麻疹(ましん)」。「はしか」の漢字表記として比較的よく見られ、双方で認識しやすい。
    * **学習コスト:** 「麻」も「疹」も常用度が高く、他の皮膚疾患関連(発疹など)で使われる可能性がある。
47. **lepr**
    * **提案:** 麻风
    * **理由:** 中国語では「麻风病（マ风病）」が標準。2文字で「麻风」と略すこともある。日本語でも「マ風病」として類推できなくはない（ただし通常は「ハンセン病」表記が多い）。
    * **学習コスト:** すでに2.で「麻」を使用しており、重複利用が可能。「风」は頻出漢字で応用範囲が広い。
48. **epilepsi**
    * **提案:** 癫痫
    * **理由:** 中国語の標準的な「てんかん」の表記。日本語の旧字体「癲癇」と近く、対応づけ可能。
    * **学習コスト:** 「癫」「痫」は病気を示す「疒」部首を含み、医学用語でよく使われる。やや画数は多めだが、専門病名としてはやむを得ない。
49. **skorbut**
    * **提案:** 坏血病
    * **理由:** 中国語で「壊血病」の簡体字表記。日本語でも「壊血病」と同じ意味。
    * **学習コスト:** 「坏」「血」「病」は頻度が高く、他の疾患名や表現と合わせて使いやすい。
50. **konvulsi**
    * **提案:** 抽搐
    * **理由:** 中国語で「けいれん・ひきつけ」の意味。日本語ではあまり馴染みがないが、「抽(ひく)」「搐(ひきつる)」で動きのニュアンスを推測しやすい。
    * **学習コスト:** 「抽」は単独でも「引き抜く」など基本語義あり。「搐」はややマイナーだが、他に適切な常用表現が少ないため採用。
51. **gangren**
    * **提案:** 坏疽
    * **理由:** 中国語の「壊疽」を簡体字化。「疽」は化膿や壊死を伴う疾患を示す字。日本語の「壊疽」と同じ意味。
    * **学習コスト:** 「坏」は5.との重複、「疽」は病気関連で専門用語として他にも応用の可能性あり。
52. **reŭmatism**
    * **提案:** 风湿
    * **理由:** 中国語で「風湿」はリウマチの意。日本語でも「風湿(ふうしつ)」と書く場合があり、対応づけは比較的容易。
    * **学習コスト:** 「风」は3.と重複利用、「湿」も他の水分・湿度関連で応用可能。
53. **katar**
    * **提案:** 黏膜炎
    * **理由:** リストにある信頼できる中国語訳(C1)「黏膜炎」を採用。日本語でも「粘膜炎」と書き、「カタル性炎症」を指す。
    * **学習コスト:** 「黏」と「膜」「炎」はいずれも病理や生物関連で頻繁に使われる。やや画数は多いが医学用語では妥当。
54. **artrit**
    * **提案:** 关节炎
    * **理由:** 中国語「关节炎」、日本語「関節炎」と一致する。
    * **学習コスト:** 「关」は高頻度字(日本語での「関」に相当)、「节」「炎」も10など他項目との重複が期待できる。
55. **ftiz**
    * **提案:** 肺结核
    * **理由:** 「肺結核」と同義。特に「肺」を明示して「肺结核」とすることで「肺病(肺の病)」と分かりやすい。
    * **学習コスト:** 「肺」と「结核」はどちらも他の呼吸器関連や結核関連で出現し得るため、一度覚えれば転用可能。
56. **tuberkuloz**
    * **提案:** 结核
    * **理由:** 結核症全般の通称。「肺结核」など部位を含まない結核全般を指す場合に使われる。
    * **学習コスト:** 11と合わせて「结核」を重複使用することで学習効率を高められる。
57. **variol**
    * **提案:** 天花
    * **理由:** 中国語・日本語とも「天然痘」のことを俗に「天花」とも呼ぶ。両言語で広く認知されている伝染病名。
    * **学習コスト:** 「天」「花」ともに非常に基本的な字であり、他分野への応用可能性大。
58. **kokluŝ**
    * **提案:** 百日咳
    * **理由:** 中国語でも日本語でも「百日咳(ひゃくにちぜき)」で同形。
    * **学習コスト:** 「百」「日」「咳」はいずれも常用字で、単独・他熟語でも汎用性がある。
59. **skarlatin**
    * **提案:** 猩红热
    * **理由:** 中国語で「猩红热」は猩紅熱(しょうこうねつ)＝猩紅熱(スカーレット・フィーバー)を意味する。日本語でも「猩紅熱」と同じ漢字。
    * **学習コスト:** 「猩」は珍しいが、「红」「热」は高頻度字のため、学習コストは限定的。
60. **diet**
    * **提案:** 饮食
    * **理由:** 「飲食」の簡体字。「規定食」や「食事制限」を連想しやすく、日常的にも頻出。
    * **学習コスト:** 「饮」「食」はともに日常語彙であり、他領域(飲料・食品等)でも頻繁に使われる。
61. **higien**
    * **提案:** 卫生
    * **理由:** 中国語の「卫生」。日本語「衛生」と同義であり、互いに容易に推測可能。
    * **学習コスト:** 「卫」は軍事・防衛などの用例も多く、「生」は最基礎レベルの字。
62. **san**
    * **提案:** 健康
    * **理由:** 中国語・日本語いずれも「健康」で「健やかさ」を指す。
    * **学習コスト:** 「健」と「康」はどちらも広汎に使われる。「健康状態」など他表現にも応用可能。
63. **fart**
    * **提案:** 状态
    * **理由:** 「（健康）状態」や「暮らし向き」を問うイメージを簡体字で表すと「状态」が近い。実際の用法としては「近况」などもあるが、「状态」のほうが「状態」という日本語と対応しやすい。
    * **学習コスト:** 「状」「态」は基本的に「状態」を意味し、他にも「形态」「事态」など多彩な表現に転用可。
64. **imun**
    * **提案:** 免疫
    * **理由:** 中国語の「免疫」、日本語の「免疫」と同一。分かりやすく専門的にも妥当。
    * **学習コスト:** 「免」「疫」はいずれも医療分野で頻出。すでにほかの「疫苗」等にも再利用が可能。
65. **inokul**
    * **提案:** 接种
    * **理由:** 中国語でワクチンの「接種」に該当。「種を接ぐ」のニュアンスがあり、日本語の「接種」と近い。
    * **学習コスト:** 「接」「种」はすでに他でも登場する可能性が高い常用字(「种」は「結核」の「结」と部首が同じ糸偏ではない点に注意だが、やや形が似通うため混同を避けたい場合はルビ等で区別予定)。
66. **vakcin**
    * **提案:** 疫苗
    * **理由:** 中国語で「ワクチン」を指す最も一般的な語。日本語話者にも「疫(疫病)」「苗(苗字、若芽等)」で連想が可能。
    * **学習コスト:** 「疫」は17・20等で使用の「衛生/免疫」と部首を共有し関連づけやすい。「苗」は植物関連でも使えるため転用の余地あり。
67. **venen** / **毒** / 有毒・毒物を表す最も直接的かつ簡便な漢字 /
    * 「毒」は画数も比較的少なく、日中両言語で「毒」「有害物質」の意味が直感的に伝わる。
    * 再利用しやすいとは言えないが、短く分かりやすい。
68. **pest** / **疫** / ペスト(疫病)を一文字で連想しやすい「疫」を採用 /
    * 中国語で「疫情」など「疫」は「伝染病」「疫病」を指し、ペストを含む重い伝染病のイメージがある。
    * 「瘟」「鼠疫」も候補だが、できるだけ短くするために一文字の「疫」を選択。
69. **parazit** / **寄生** / 「寄生(虫)」を連想しやすい2文字 /
    * 一文字では適切な表現が難しく、かつ「寄」と「生」は比較的よく使われる漢字。
    * 「寄虫」「寄生虫」なども考えられるが、2文字でまとまりがよい「寄生」とした。
    * 「生」は他の語根割当でも再利用しやすく学習コストが低い。
70. **bacil** / **菌** / バチルス(杆菌)だが、単独で「菌」も「細菌・菌類」の総称として使われる /
    * 厳密には「杆菌(杆+菌)」だが、漢字の重複を抑えるため一文字「菌」に集約。
    * 後述の「bakteri」にも同じ「菌」を割り当てることで学習コストを抑える。
71. **bakteri** / **菌** / バクテリア全般を「菌」で共通化 /
    * 本来は「细菌」や「菌類」などがあるが、「bacil」と同様、一文字「菌」で統一。
    * 上付き文字などで区別運用する想定。
72. **simptom** / **症** / 「症状」の「症」を流用 /
    * 単独で「症」と書く場合、中国語でも「病症」「症状」のイメージを与える。
    * 「状」と分けて「症状」とする案もあるが、2文字より画数削減を優先して一文字に。
73. **hospital** / **医院** / 中国語の標準的な「病院」表現 /
    * 日本語では「病院」が一般的だが、簡体字で広く認知されている「医院」を選択。
    * 2文字だが「医」「院」ともに頻度が高く汎用性がある。
74. **pacient** / **病人** / 「患者」を意味する2文字 /
    * 「患者(患+者)」「病人(病+人)」が候補だが、より直接的で簡明な「病人」を選択。
    * 「病」「人」はどちらも汎用性が高く多用される漢字。
75. **apotek** / **药店** / 薬局・ドラッグストアを表す中国語表現 /
    * 「药房」も有力候補だが、「店」は「商店」「书店」など使い回しができ、汎用性が高い。
    * 「药」(くすり)の字を今後も使い回す方針。
76. **medicin** / **医学** / 「医学(医の学問)」を表す2文字 /
    * 「医」単独だと「医者」「医術」の含意になるが、学問としては「医学」の方が適切。
    * 「学」は今後、他の学問系語根にも再利用がしやすい。
77. **farmaci** / **药学** / 薬学を直接示す2文字 /
    * 「药」「学」はどちらも既出(上記#9, #10)で、追加の学習負担が少ない。
78. **jalap** / **未対応** / 「ヤラッパ」は非常にマイナーで対応する常用表現が見当たらない /
    * 漢字一文字や短い熟語がなく、学習コストに見合わない可能性が高いため見送り。
79. **narkot** / **麻醉** / 「麻酔する」「麻醉する」を表す2文字 /
    * 本来「麻醉」は「麻酔」を指し、動詞としても通用する。
    * 「麻」(麻＝ヘンプ)単独では意味が広すぎるため、「醉」(酔う)を加えて成立。
    * 画数はやや多いが「麻醉」は医学用語として認知度が高い。
80. **narkotik** / **麻药** / 麻酔薬・麻薬を指す2文字 /
    * 名詞としての「麻薬」「麻酔薬」を縮めた形。「麻醉药」という3文字を省略している。
    * すでに「药」は既出で、追加の新規漢字は「麻」のみ(13で導入済み)。
81. **medikament** / **药品** / 一般的に「薬品」「医薬品」を指す /
    * 「药剂」「药物」などもあるが、「药品」が比較的広義かつ二文字でまとまりがよい。
    * 既出「药」の再利用+「品」はよく使われる字で学習コストも許容範囲。
82. **drog** / **药** / 「薬物」一般を示す最短一文字 /
    * 既に複数の複合語で「药」を使っており、ここでは単独で「薬」の意を表す。
    * 繰り返し活用可能。
83. **pilol** / **丸** / 錠剤や丸薬のイメージに最適 /
    * 中国語でも「药丸」「丸剂」などがあり、「丸」単体でも「丸薬」の意味を連想しやすい。
    * 画数(3画)が非常に少なく学習負担が軽い。
84. **plastr** / **膏药** / 膏薬(貼り薬)を意味する標準的表現 /
    * 「石膏(石+膏)」と区別するためにも「膏药」が最も分かりやすい。
    * 「膏」(14画)はやや多画数だが、他に適切な短い表記が少ない。
85. **homeopati** / **顺势疗法** / 中国語で同種療法=「順勢療法」の定訳 /
    * 「同种疗法」など表現揺れもあるが、「顺势疗法」がより一般的。
    * 4文字だが、この分野での標準用語。
86. **homeopat** / **顺势疗法家** / ホメオパシー施術者を直訳的に表現 /
    * 中国語圏で厳密に定着した短縮形は少なく、説明的に「疗法家」とした。
    * やや文字数が多いが標準的理解を得やすい。
87. **hidroterapi** / **水疗** / 水治療法を端的に示す2文字 /
    * 「水疗法」(3文字)とも言うが、「水疗」で通じる場合も多い。
    * 既出の「疗」を再利用し、文字数を抑えた。
88. **kurac** / **治疗** / 治療を意味する2文字 /
    * 一文字「治」でも可能だが「政治」「自治」など他義が広いため、「治疗」の方が医療的意味が明確。
    * 既出「疗」(19,21で使用)を流用し、追加は「治」のみ。
89. **terapi** / **疗** / 「治疗(therapy)」の「疗」を抜き出し、治療・療法を想起させる / 画数は7画で比較的少なく、「医」「治」など医療関連とも関連づけやすい
90. **klinik** / **诊所** / 「クリニック」の意味に最も近い常用表現で、中国語圏でも通用する / 既出・今後登場の可能性が高い「讠(言)」「所(場所)」などの偏旁で構成、学習コストを抑えられる
91. **kirurg** / **外科** / 「外科医(外科)」を象徴する語として簡潔 / 「外」「科」は画数・使用頻度とも比較的妥当であり、医療分野で再利用しやすい
92. **ĥirurg** / **外科** / 上記「kirurg」と同義のため同じ割当 / 同一漢字を使い回すことで学習負担を軽減
93. **kirurgi** / **外科** / 外科学全般も「外科」で統合可能 / 「外科」の上付き文字や振り仮名で区別予定
94. **ĥirurgi** / **外科** / 「kirurgi」と同義扱い / 同一割当で学習コストを削減
95. **operaci** / **手术** / 医学的手術を表す常用語 / 「手」「术」はともに高頻度字で、応用範囲も広い
96. **amput** / **截肢** / 医学的な切断手術を明確に示す標準的表現 / 「截」「肢」それぞれ単体でも比較的よく使われる語素(切る／手足)のため再利用しやすい
97. **injekt** / **注射** / 注入＋射出の意で、医療分野での「注射」を表す標準用法 / 「注」「射」は単独でも頻出し、他語根へも展開可能
98. **klister** / **灌肠** / 浣腸を表す一般的な医療用語 / 「灌」「肠」は他の場面(灌输、肠胃など)でも出現し得る
99. **zuav** / **祖阿夫** / ズアーブ(アルジェリア歩兵)は中国語で特定の1字表記が無く、音写が一般的 / 「祖」「阿」「夫」いずれも常用字で、転用しやすい
100. **sieĝ** / **围城** / 城を包囲する「包囲戦」のニュアンスが伝わりやすい / 「围」「城」は軍事以外にも「围绕」「城市」などで使用頻度が高い
101. **embusk** / **伏击** / 「待ち伏せ攻撃」の意味を最もシンプルに表現 / 「伏」「击」はいずれも軍事や警察関連などで比較的見かける字
102. **arm##** / **未対応** / 末尾の「##」により語根ではないと明記されているため割当は行わない / なし
103. **arm** / **武装** / (に)武装させることを端的に示す標準語 / 「武」「装」は軍事関連で再利用しやすく、意味連想も容易
104. **mobiliz** / **动员** / [軍]動員する標準的表現 / 「动」「员」は頻出度が高く、偏旁も単純
105. **rekrut** / **募** / (兵士などを)募る・募集する際に用いられる核心字 / 「募」はやや画数(12画)は多めだが「募集」「募捐」など派生も多い
106. **kanon** / **炮** / 大砲を示す簡体字 / 「火」偏に「包」の組み合わせで、中国語圏では「大炮」の略表記としても通じやすい
107. **munici** / **弹药** / [軍]弾薬を直接表す最も一般的な熟語 / 「弹」「药」はいずれも頻度が高く他の文脈でも応用可
108. **artileri** / **炮兵** / [軍]砲兵(隊)に相当する一般表現 / 「炮」「兵」は既出・高頻度要素で構成され、再学習負担を抑えられる
109. **grenad** / **手雷** / 手榴弾の略称としても使われる語 / 「手榴弹(手雷)」よりもやや画数が少なく、軍事用語として通じる
110. **torped** / **鱼雷** / 魚雷を表す標準的かつ短い熟語 / 「鱼」「雷」はどちらも基本的偏旁・部首で構成されており転用しやすい
111. **salv** / **齐射** /  
     　**選定理由**: 一斉射撃＝「齐射」が中国語での一般的表現。「齐」(そろって)＋「射」(射撃) で「一斉射撃」を表す。  
     　**学習コスト**: 「齐」「射」は比較的ポピュラーな漢字。後述の軍事用語と直接の重複は少ないが、画数は多すぎず扱いやすい。
112. **halebard** / **戟** /  
     　**選定理由**: 古代中国の長柄武器「戟」は、まさに欧州の「halberd(ほこやり)」に相当。  
     　**学習コスト**: やや特殊な漢字だが1文字で済む・画数(戟:9画)も許容範囲内。
113. **afust** / **炮架** /  
     　**選定理由**: 砲＝「炮」、架＝「架」で「砲(大砲)の台や架台」を指すのに自然。  
     　**学習コスト**: 「炮」は砲関連で他にも応用可。「架」も日常語彙(「架子」など)として頻度はそこそこあり、学習価値は高め。
114. **kazemat** / **炮郭** /  
     　**選定理由**: 「砲郭」は古い専門用語に近いが、文字通り「大砲＋郭(囲い)」の構造を表し、casemate（砲郭）との対応関係は分かりやすい。  
     　**学習コスト**: 「炮」は既出。「郭」はやや画数が多い(10画)が、一度覚えてしまえば「城郭」などでも使える。
115. **piked** / **哨** /  
     　**選定理由**: 小哨・哨所・哨兵など、中国語では「哨」が哨戒・見張り所を表す中心的な漢字。  
     　**学習コスト**: 「哨」(9画)単独で「哨所・見張り」をイメージしやすい。口偏(口部首)は学習頻度が高く、使い回しもしやすい。
116. **ponton** / **舟桥** /  
     　**選定理由**: 軍事用の舟橋(ポントン)は中国語で「舟桥」または「浮桥」が使われるが、舟橋部隊は「舟桥部队」と呼ばれ、軍事色がより明確。  
     　**学習コスト**: 「舟」(ふね)＋「桥」(橋) と、既に学習済み/今後出現頻度が高いであろう字のみで構成。
117. **eskadr** / **舰队** /  
     　**選定理由**: 海軍の艦隊や分艦隊を一般的に「舰队」と呼ぶ。英語の「naval squadron」に相当。  
     　**学習コスト**: 「舰」(船の総称だが軍艦などを指す)＋「队」(隊)。「队」は後述の軍隊などで既出。
118. **admiralatat** / **海军部** /  
     　**選定理由**: 「海軍本部」＝「海军部」が最もシンプル。Admiraltyを指す正式名称として使われる。  
     　**学習コスト**: 「海」は初出だが汎用性が高く(海洋関連で頻用)、「军」「部」はすでに他の軍事用語でも広く使える。
119. **gvardi** / **近卫军** /  
     　**選定理由**: 親衛隊・近衛隊を表す中国語は「近卫军」が一般的。皇帝などを護衛する精鋭部隊のニュアンス。  
     　**学習コスト**: 「近」(比較的初級で習う)＋「卫」(警護など)＋「军」(軍)。いずれも頻出漢字で応用範囲も広い。
120. **divizi** / **师** /  
     　**選定理由**: 中国軍では「○师」と書いて「○師(division)」と読むケースが多い。師団の意味に合致。  
     　**学習コスト**: 一文字で済み、かつ軍事用語として固定的に使用されるため分かりやすい。
121. **kazern** / **兵营** /  
     　**選定理由**: 兵士(兵)の営(キャンプ)＝「兵营」は「兵舎」「バラック」「営舎」の意。  
     　**学習コスト**: 「兵」(兵士)＋「营」(キャンプ) の組合せは既に軍事用語でも何度も登場し、汎用性大。
122. **infanteri** / **步兵** /  
     　**選定理由**: 歩兵＝「步兵」は中国語でも標準的。  
     　**学習コスト**: 「步」(歩く)＋「兵」(兵士)。すでに「兵」は再利用。
123. **skadr** / **骑兵中队** /  
     　**選定理由**: 騎兵の小隊級～中隊級部隊を指すなら「骑兵中队」が比較的一般的(“cavalry squadron”)。  
     　**学習コスト**: 「骑」「兵」「中」「队」全て軍事関連や日常表現(中/队)で頻出。「骑兵」は下記14番にも流用。
124. **kavaleri** / **骑兵** /  
     　**選定理由**: 騎兵隊全般＝「骑兵」。  
     　**学習コスト**: 「骑」「兵」を合わせるだけなので単純。先に(13)で出ており相互学習が容易。
125. **brigad** / **旅** /  
     　**選定理由**: 中国軍で旅団は「旅」(略称)または「旅(团)」。一文字の「旅」で「brigade」を指す場合が多い。  
     　**学習コスト**: 一文字で済むうえ日常語「旅行」などにも通じる。
126. **regiment** / **团** /  
     　**選定理由**: 中国軍(含む旧ソ連系編制)において「团」は「連隊(regiment)」を表すのが一般的。  
     　**学習コスト**: 「団」の簡体字であり、よく使われる文字(集団・集团など)。すでに他でも使う可能性が高い。
127. **batalion** / **营** /  
     　**選定理由**: 中国語で大隊＝「营」。軍の編成で「师-旅-团-营-连...」という階層の一角。  
     　**学習コスト**: 既に「兵营」(バラック)で登場。「キャンプ」「バタリオン」の両方を表す汎用性。
128. **legi** / **军团** /  
     　**選定理由**: 古代ローマ軍団などを指す「レギオン」は中国語では「军团」と訳されることが多い。  
     　**学習コスト**: 「军」＋「团」はどちらも再利用頻度が高く、軍事・集団関係で登場済み。
129. **arme** / **军队** /  
     　**選定理由**: 一般的に「軍隊」は「军队」。「arme」が指す「武力・軍」全般に対応。  
     　**学習コスト**: 「军」「队」は既に何度も出現。短く分かりやすい。
130. **korpus** / **兵团** /  
     　**選定理由**: 軍団(army corps)を中国語で「兵团」ともいう(例: 新疆生产建设兵团)。上記18番「军团」と区別する形でも使われる。  
     　**学習コスト**: 「兵」「团」はいずれも既出。新たに複雑な字を増やさずに済む。
131. **aviad** / **航空** /  
     　**選定理由**: 航空(aviation)を端的に表す中国語として「航空」。  
     　**学習コスト**: 「航」(航行)＋「空」(空)は日常にも登場(航空会社、航天など)し、応用可能。
132. **aviad/il##** / **飞机** /  
     　**選定理由**: 航空機(aeroplane/aircraft)の最も一般的な中国語表現は「飞机」。  
     　**学習コスト**: 「飞」(飛ぶ)＋「机」(機械) の2文字のみでシンプル。今後も機械類を表すのに「机」は再利用可。
133. **aeroplan / 飞机 /**  
     　**選定理由**: 中国語で「飛行機」を意味する最も一般的な単語。日本語話者にも「飞=飛」「机=機」の対応で容易に類推可能。  
     　**学習コスト**: 「飞(飛)」と「机(機)」はいずれも基本的な字であり、後続の“飞”を含む単語との再利用が見込める。
134. **flug / 飞 /**  
     　**選定理由**: 「飛ぶ」という動詞・動作を単独で表しやすい簡体字。  
     　**学習コスト**: すでに「飞机(飛機)」で登場する「飞」を再利用しており、学習負担は低い。
135. **pilot / 飞行员 /**  
     　**選定理由**: 中国語で「パイロット」を指す標準的な表現（飞行=飛行 + 员=員）。  
     　**学習コスト**: 「飞」は既出。「行」「员」も後続語で再利用可能(例: 运动员など)。
136. **fregat / 护卫舰 /**  
     　**選定理由**: 「フリゲート艦」の中国語既存表現。護衛艦の意を直接示す。  
     　**学習コスト**: 「护(護)」「卫(衛)」「舰(艦)」はいずれも軍事や防護関連で用いられる字。やや画数は多めだが、中国語圏では基本的によく使われる。
137. **paraŝut / 降落伞 /**  
     　**選定理由**: 「パラシュート」の中国語標準表現。日本語話者にも「落下傘(らっかさん)」との関連で比較的連想しやすい。  
     　**学習コスト**: 「降」「落」は「下りる」「落ちる」の常用字、「伞(傘)」も基本語彙。やや文字数は多いが、意味の透明性が高い。
138. **helikopter / 直升机 /**  
     　**選定理由**: 中国語で「ヘリコプター」を表す代表的な語。「直升」は「垂直に上昇する」の意。  
     　**学習コスト**: 「机」は既出(飞机)。新出の「直」「升」は日中いずれも比較的なじみやすい。
139. **ambulanc / 救护车 /**  
     　**選定理由**: 「救急車」を意味する中国語の一般的な表現。「救护」は「救護」を表す。  
     　**学習コスト**: 「救」「护」(既出)「车(車)」は頻出字であり、意味も推測しやすい。
140. **kurier / 急使 /**  
     　**選定理由**: 「急ぎの使者」を直訳した形。現代中国語で「快递」等もあるが、日本語の「急使」に対応しやすく、字面で意図が伝わりやすい。  
     　**学習コスト**: 「急」は後続の「急行」にも流用。「使」は初出だが常用字。
141. **ekspres / 急行 /**  
     　**選定理由**: 日本語「急行(列車)」に対応し、中国語でも「急行列车」といえば通じる。簡潔に「急行」として提案。  
     　**学習コスト**: 「急」は既出、「行」は「飞行员」で既出。追加負担ほぼなし。
142. **aren / 竞技场 /**  
     　**選定理由**: 「闘技場」を意味する中国語定番表現。「竞技=競技」「场=場」。  
     　**学習コスト**: 「竞」「技」「场」の3字。「竞」は後の「竞争」「竞赛」と連動。「场」は後の「赛马场」などで再利用。
143. **hipodrom / 赛马场 /**  
     　**選定理由**: 「競馬場」を意味する中国語の一般的な表記(赛马=競馬 + 场=場)。  
     　**学習コスト**: 「赛」は後述の「竞赛」や「锦标赛」にも登場。「马(馬)」「场(場)」も再利用可能。
144. **cirk / 马戏团 /**  
     　**選定理由**: 中国語で「サーカス」を指す代表的な単語(马戏=馬戲 + 団)。  
     　**学習コスト**: 「马」は既出(赛马场)。「戏(戲)」「团(団)」は新出だが、中国語ではごく常用。
145. **amfiteatr / 圆形竞技场 /**  
     　**選定理由**: 「円形競技場」を中国語では「圆形竞技场」と表せる。ローマの円形闘技場などを指す場合にも使われる。  
     　**学習コスト**: 「圆(円)」「形」は新出。「竞」「技」「场」は既出。意味の構造が明快。
146. **gimnast / 体操运动员 /**  
     　**選定理由**: 「体操競技の選手」を指す標準的な言い方。英語の“gymnast”に相当。  
     　**学習コスト**: 「体」「操」は新出。「运(運)」「动(動)」「员(員)」はいずれも既出・再利用可(例: 飞行员 / 运动)。
147. **sport / 运动 /**  
     　**選定理由**: 中国語で「スポーツ」全般を指す最も基本的な表現。「运动=運動」。  
     　**学習コスト**: 「运」「动」はいずれも既出(体操运动员など)。追加負担なし。
148. **atlet / 运动员 /**  
     　**選定理由**: 「運動選手」の中国語として「运动员」が最も一般的。  
     　**学習コスト**: 「运」「动」「员」はいずれも既出。
149. **turnir / 锦标赛 /**  
     　**選定理由**: 「トーナメント」「選手権」などを表す標準的な中国語。「锦标赛」が最も一般的(錦=きん, 标=標, 赛=賽)。  
     　**学習コスト**: 「赛」は再利用済み。「锦」「标」は新出だが、トーナメントを表す語として認知度が高い。
150. **konkurenc / 竞争 /**  
     　**選定理由**: 「競争(名詞)」を意味する最も直接的な表現。  
     　**学習コスト**: 「竞」は既出、「争」は新出だが日中ともに常用字で理解しやすい。
151. **konkur / 竞争 /**  
     　**選定理由**: 動詞「競争する」も中国語では名詞と同じ「竞争」を用いるのが一般的。  
     　**学習コスト**: すでに登場済みの「竞争」をそのまま再利用。
152. **konkurs / 竞赛 /**  
     　**選定理由**: 「競技・コンテスト」を表す代表的な単語。「比赛」も可だが、ここでは「竞赛」を採用。  
     　**学習コスト**: 「竞」「赛」はすべて既出。「競技」「競馬」「トーナメント」などとの関連で覚えやすい。
153. **ski / 滑雪 /**  
     　**選定理由**: 「スキー(をする)」を中国語で表す一般的表現。「滑雪板」は“スキー板”に限定されるため、動作含みで「滑雪」を提案。  
     　**学習コスト**: 「滑」「雪」は新出だが日常語彙。画数はやや多いが、ほかに候補も少ないため標準形を優先。
154. **sabr / 军刀 /**  
     　**選定理由**: 「サーベル」は軍用の刀剣に近いため、中国語では「军刀」が最も分かりやすい。  
     　**学習コスト**: 「军(軍)」「刀」はいずれも画数が比較的少なく、常用度合いも高い。
155. **sled**
     * **提案漢字**: 「橇」
     * **選定理由**: 「雪橇(xuěqiāo)」が標準的な「そり」の表現だが、ここでは1文字で「橇」を選択。意味が直截的に「ソリ」を表す。
     * **学習コスト**: やや画数(11画程度)が多めで頻度も高くないが、「雪橇」という熟語で今後他の「雪○」系語と組み合わせる可能性もある。状況によっては「雪橇」2文字で割り当ててもよい。
156. **sel** (saddle)
     * **提案漢字**: 「鞍」
     * **選定理由**: 「鞍」は「鞍・鞍子(あんこ)＝馬の鞍」を直接指す最も代表的な1文字。熟語では「马鞍(mǎ’ān)」があるが、ここでは1文字にまとめた。
     * **学習コスト**: 15画とやや多いが、意味対応が明快。また「鞍」は日中両方で「鞍」の意味を連想しやすい。
157. **bilard** (billiards)
     * **提案漢字**: 「台球」
     * **選定理由**: 中国語でビリヤードは一般に「台球(táiqiú)」。2文字ながら簡潔で広く通用する。
     * **学習コスト**: 「台(5画)」「球(11画)」はいずれも比較的頻出漢字。総画数はそこそこだが、意味の連想が容易。
158. **polk** (polka)
     * **提案熟語**: 「波尔卡」
     * **選定理由**: 中国語の慣用的な外来表記が「波尔卡(bō’ěrkǎ)」。ポルカ舞踊を指す標準的音訳。
     * **学習コスト**: 3文字（波8画/尔5画/卡5画）。いずれも外来語表記に使われる字で、他の外来音訳にも転用可能。
159. **parodi** (parody)
     * **提案熟語**: 「戏仿」
     * **選定理由**: 「パロディ」を中国語では「戏仿(xìfǎng)」「模仿戏」などと言う場合がある。比較的コンパクトに「戲(戯)＋仿」で「パロディ的模倣」を表す。
     * **学習コスト**: 2文字で、いずれも汎用的な偏旁(亻偏や戈偏など)を含む。「戏」は「演劇/遊び」を示唆、「仿」は「まねる」を示唆。
160. **burlesk** (burlesque)
     * **提案熟語**: 「滑稽剧」
     * **選定理由**: 「滑稽剧(huájī jù)」は「滑稽な演劇」、いわゆるコメディ寄りの舞台を示す。バーレスク本来の意味は諷刺・茶番劇なども含むが、最も近い中国語表現の一つ。
     * **学習コスト**: 3文字だが「滑(12画)」「稽(10画)」「剧(6画)」。やや多画ながら他のコミカル系表現で再利用可能な漢字(滑,剧など)を含む。
161. **barikad** (barricade)
     * **提案熟語**: 「路障」
     * **選定理由**: 「バリケード」に相当する簡体字の代表訳の一つが「路障(lùzhàng)」。「街垒(jiēlěi)」もあるが、「路障」は一般的に「障害物/バリケード」を指しやすい。
     * **学習コスト**: 2文字。「路(13画)」「障(14画)」とも使用頻度が比較的高い。やや画数は多めだが意味は非常に明快。
162. **lice** (lycée: フランスの高等中学校)
     * **提案熟語**: 「中学」
     * **選定理由**: フランス等の「リセ」は日本語で言う高等中学レベルだが、中国語訳としてはしばしば「中学」と総称されがち。
     * **学習コスト**: 2文字。「中(4画)」「学(8画)」。非常に基本的な漢字。
163. **gimnazi** (Gymnasium: ドイツなどの上級中等学校)
     * **提案熟語**: 「高中」
     * **選定理由**: ドイツ語圏のギムナジウムは大学進学を前提とした高等学校。中国語では「高级中学」「高中」と近い概念。やや省略形の「高中」を推奨。
     * **学習コスト**: 2文字。「高(10画)」「中(4画)」。こちらもよく使われる基本字。
164. **skol** (school of thought, 学派)

* **提案熟語**: 「学派」
* **選定理由**: エスペラントの "skol" は哲学・芸術などの「学派」的意味。中国語も「学派(xuépài)」が対応として一般的。
* **学習コスト**: 2文字。「学(8画)」「派(9画)」。いずれも比較的頻出。

1. **fakultat** (faculty (大学の学部等))

* **提案熟語**: 「院系」
* **選定理由**: 中国の大学組織は「学院(College/School)」「系(Department)」で構成されることが多く、「faculty」をまとめて指す場合に「院系(yuànxì)」と総称することがあるため。
* **学習コスト**: 2文字。「院(10画)」「系(4画)」。既に「学」「院」を多用するなら、ここで「院＋系」の組合せも学習負担は大きくない。

1. **student** (学生(大学生))

* **提案熟語**: 「学生」
* **選定理由**: 意味的には大学生を指すことが多いが、中国語では「学生(xuéshēng)」が総称として広く使われる。「大学生」はやや限定的になるため、汎用性を優先して「学生」を採用。
* **学習コスト**: 2文字。「学(8画)」「生(5画)」。基礎語彙。

1. **universitat** (university)

* **提案熟語**: 「大学」
* **選定理由**: もっとも基本的かつ直截的に「大学」を表す。
* **学習コスト**: 2文字。「大(3画)」「学(8画)」。ごく基本的。

1. **kolegi** (college, 専門学校・カレッジ)

* **提案熟語**: 「学院」
* **選定理由**: 中国語で「○○学院」と言えば大学内の「○○カレッジ」や独立系の専門学校等を幅広く指し得る。
* **学習コスト**: 2文字。「学(8画)」「院(10画)」。すでに登場済みの偏旁「学」「院」でカバーでき、追加負担少。

1. **akademi** (academy)

* **提案熟語**: 「学院」
* **選定理由**: 「学士院」「科学院」「研究院」など用途ごとに多様だが、包括的に「学院(academy)」と称される場合が多い。既存の「学院」を再利用。
* **学習コスト**: 同上。「学院」であれば新たな漢字の追加不要。

1. **temperatur** (temperature)

* **提案熟語**: 「温度」
* **選定理由**: 最も一般的な「温度(wēndù)」。
* **学習コスト**: 2文字。「温(12画)」「度(9画)」。いずれも日中で意味を把握しやすい。

1. **termometr** (thermometer)

* **提案熟語**: 「温度计」
* **選定理由**: 「温度計」の標準訳が「温度计(wēndùjì)」。体温計も含め一般の温度計全般を指せる表現。
* **学習コスト**: 3文字。「温」「度」「计(4画)」。既出の「温」「度」を再利用し、追加は「计」のみ。

1. **hejt** (暖房する、加熱する)

* **提案熟語**: 「加热」
* **選定理由**: 一般動詞として「（何かを）加熱する」を最も端的に表現。「暖气」は暖房設備そのものだが、動詞的意味合いなら「加热(jiārè)」。
* **学習コスト**: 2文字。「加(5画)」「热(10画)」。うち「热」は19番(varm)等にも使い回し可。

1. **varm** (warm, hot)

* **提案漢字**: 「热」
* **選定理由**: エスペラントの「varm」は「暖かい」～「熱い」まで幅がある。中国語では「热(rè)」が最も広く「暑い・熱い・温かい」ニュアンスを担うため。
* **学習コスト**: 1文字(10画)。既出の「热」を再利用することで学習コストを下げられる。

1. **ard** (白熱の, 灼熱, 情熱的)

* **提案熟語**: 「炽热」
* **選定理由**: 「炽(chì)」は「燃え盛る・盛んな熱」を表し、「炽热(chìrè)」で「白熱・灼熱」をより強調。情熱的・激しい熱などのニュアンスも含む。
* **学習コスト**: 2文字。「炽(8画)」はややマイナーだが、「热(既出)」を組み合わせて意味をより明確化。

1. **topograf** (地誌学者, 地形測量者など)

* **提案熟語**: 「测绘师」
* **選定理由**: 厳密には「topographer＝地形図作成者」に近い。「测绘(cèhuì)＝測量・製図」を担う専門家に「师」を付け「测绘师」。厳密な訳ではないが比較的簡潔。
* **学習コスト**: 3文字。「测(9画)」「绘(7画)」「师(6画)」。それぞれ比較的頻出の偏旁を含む(氵,纟, etc.)。

1. **geolog** (地質学者)

* **提案熟語**: 「地质学家」
* **選定理由**: 一般的に「地质学家(dìzhìxuéjiā)」が「地質学の専門家」を指す。
* **学習コスト**: 4文字とやや長めだが、専門家を示す「学家」は他の学問分野でも再利用可能。

1. **geograf**
   * **提案:** 地理学家
   * **選定理由:** 現代中国語の標準的な「地理学家」(＝地理学の専門家)に準拠。
   * **学習コスト:** 「地(3画)」「理(11画)」「学(8画)」「家(10画)」はいずれも頻出かつ他分野でも使うため汎用性は高い。
2. **paleograf**
   * **提案:** 古文字学家
   * **選定理由:** 「古文字学」は古代文字の形態・変遷を研究する学問として、中国語でも通じる表現。
   * **学習コスト:** 「古(5画)」「文(4画)」「字(6画)」「学(8画)」「家(10画)」。すでにいくつかは他語根でも登場予定のため重複利用が可能。
3. **paleontolog**
   * **提案:** 古生物学家
   * **選定理由:** 「古生物学」は化石などによる古代生物の研究分野として定着した用語。
   * **学習コスト:** 「古」「生(5画)」「物(8画)」「学」「家」。すでに「古」「学」「家」は他語根で登場、重複利用しやすい。
4. **grafolog**
   * **提案:** 笔迹学家
   * **選定理由:** 「笔迹(筆跡)」は「書かれた文字の跡」、つまり筆跡・手書き文字を指す。筆跡学(筆跡鑑定)の専門家を示すのに適切。
   * **学習コスト:** 「笔(筆)」「迹(跡)」「学」「家」。やや画数は多いものの、この分野を表すには比較的わかりやすい熟語。
5. **etnograf**
   * **提案:** 民族志学家
   * **選定理由:** 「民族志(ethnography)」という言葉は、日本語・中国語ともに学術用語として定着。民族誌の研究者＝民族誌学家とするのが自然。
   * **学習コスト:** 「民(5画)」「族(7画)」「志(7画)」「学」「家」。いずれも比較的よく使う漢字なので、学習汎用性はそこそこ高い。
6. **genealog**
   * **提案:** 系谱学家
   * **選定理由:** 「系谱(系譜)」は血縁・家系の系統図を指す表現で、中国語でも「家谱(家系図)」などと並ぶ一般的用語。
   * **学習コスト:** 「系(7画)」「谱(譜,13画)」「学」「家」。やや「谱」が多画数だが、ほかに類似の語(乐谱, 谱写など)でも使用される可能性があり、一定の汎用性はある。
7. **biograf**
   * **提案:** 传记作家
   * **選定理由:** 中国語で「伝記を書く人」は「传记作家」と表すのが自然(「～学家」だと“研究者”寄りになってしまう)。
   * **学習コスト:** 「传(伝,6画)」「记(記,7画)」「作(7画)」「家(10画)」。やや4文字だが、いずれも常用字。
8. **filolog**
   * **提案:** 文献学家
   * **選定理由:** 「文献学(Philology)」は文献批判や古典研究などを含むため、比較的正確にフィロロジーを示せる。
   * **学習コスト:** 「文(4画)」「献(13画)」「学(8画)」「家(10画)」。多少画数多めの「献」だが、中国語・日本語双方で「文献」という語は馴染み深い。
9. **bibliograf**
   * **提案:** 书目学家
   * **選定理由:** 「书目学(しょもくがく, bibliography)」は書誌学に相当。中国語でも「书目学家」で通じる。
   * **学習コスト:** 「书(書,4画)」「目(5画)」「学」「家」。どれも他でも用いられる頻出字。
10. **veterinar**

* **提案:** 兽医
* **選定理由:** 中国語では通常「兽医」(獣医)と呼ぶ。「～学家」というより実務家を指す場合は「兽医」のほうが自然。
* **学習コスト:** 「兽(獸,11画)」「医(7画)」。シンプルに2文字で済み、汎用性も比較的高い(「医」は医療全般で頻出)。

1. **entomolog**

* **提案:** 昆虫学家
* **選定理由:** 「昆虫学」はごく標準的な名称。
* **学習コスト:** 「昆(8画)」「虫(6画)」「学」「家」。分解して見れば偏旁も比較的覚えやすい部類。

1. **ornitolog**

* **提案:** 鸟类学家
* **選定理由:** 「鸟类学(鳥類学)」は鳥類に関する学問。「鸟家」だけでは曖昧なので「鸟类学家」が無難。
* **学習コスト:** 「鸟(鳥,5画)」「类(類,9画)」「学」「家」。中程度の画数。

1. **zoolog**

* **提案:** 动物学家
* **選定理由:** 中国語における標準的な「动物学(動物学)」。
* **学習コスト:** 「动(動,6画)」「物(8画)」「学」「家」。すでに登場した漢字も多く、重複利用可能。

1. **biolog**

* **提案:** 生物学家
* **選定理由:** いわゆる「生物学者」の中国語表現。
* **学習コスト:** 「生(5画)」「物(8画)」「学」「家」。頻出漢字。

1. **fiziolog**

* **提案:** 生理学家
* **選定理由:** 「生理学(physiology)」に対応。中国語の定番表現。
* **学習コスト:** 「生」「理(11画)」「学」「家」。いずれも他分野でも用いられ、汎用性は高い。

1. **anatom**

* **提案:** 解剖学家
* **選定理由:** 「解剖学」を専門とする研究者という意味で自然。
* **学習コスト:** 「解(13画)」「剖(10画)」「学」「家」。やや画数が多いが専門用語としては一般的。

1. **etiolog**

* **提案:** 病因学家
* **選定理由:** 「病因(etiology)」は病気の原因を研究する学問分野。
* **学習コスト:** 「病(10画)」「因(6画)」「学」「家」。専門用語ではあるが、中国語・日本語共に意味は取りやすい。

1. **patolog**

* **提案:** 病理学家
* **選定理由:** 「病理学(pathology)」の専門家。
* **学習コスト:** 「病」「理」「学」「家」。すでに出現した漢字多数で学習コストは抑えやすい。

1. **astrolog**

* **提案:** 占星学家
* **選定理由:** 「占星学」は占星術（の理論）を指す言い方。占い師的ニュアンスも含むが、学術寄りの表現として一般的。
* **学習コスト:** 「占(5画)」「星(9画)」「学」「家」。他への転用もしやすい字。

1. **astronom**

* **提案:** 天文学家
* **選定理由:** 「天文学(astronomy)」の専門家。中国語の定番表現。
* **学習コスト:** 「天(4画)」「文(4画)」「学」「家」。非常に基本的な漢字。

1. **retor**

* **提案:** 修辞学家
* **選定理由:** 「修辞学(rhetoric)」を専門に扱う研究者。「修辞家」だけだとやや曖昧なので、「修辞学家」にした。
* **学習コスト:** 「修(9画)」「辞(13画)」「学」「家」。やや画数多めの「辞」だが、他でも「辞典」「辞書」など使用頻度は高い。

1. **teokrat**

* **提案:** 神权主义者
* **選定理由:** theocrat(神権主義者) は、学者というより“思想・立場”を示すため「～学家」より「～主义者」が自然。
* **学習コスト:** 「神(9画)」「权(權,6画)」「主(5画)」「义(義,3画)」「者(8画)」。どれも比較的基礎的な漢字だが、4～5文字にわたる点はご容赦を。

1. **teist** / **有神论者** /
   * **選定理由:** 中国語で「theist」を表す一般的な訳語が「有神论者」であり、日本語話者も「有神論」という言い方で容易に意味を連想しやすい。
   * **学習コスト:** 「神」は後述の「神学家」でも使用するため再利用可能だが、「有」「论」「者」は初出。ただし「有」は日常頻出、「论」も「讨论」「理论」などで学習価値が高く、「者」も「学者」「作者」などで頻出。
2. **teolog** / **神学家** /
   * **選定理由:** 「神学家」は「theologian」の定訳。中国語でも一般的で、日本語の「神学者」に対応し、意味が直感しやすい。
   * **学習コスト:** 「神」「学」「家」の3字はいずれも非常に使用頻度が高く、後続の多くの語でも「学」「家」を再利用。
3. **mineralog** / **矿物学家** /
   * **選定理由:** 「矿物学家」は「mineralogist」を指す標準的な表現（ただし日常用語としてはやや専門的）。
   * **学習コスト:** 「矿(鉱)」「物」「学」「家」。うち「物」「学」「家」は他分野で頻出。「矿」は「金属」「鉱山」などとも関連語が多く、一度覚えてしまえば応用範囲が広い。
4. **metalurgi** / **冶金学** /
   * **選定理由:** 「冶金学」は「metallurgy」の定訳。「冶金」という熟語自体が中国語で一般的な技術用語。
   * **学習コスト:** 「冶」「金」「学」。やや専門的な「冶」だが、「金」と「学」は頻出。1文字で「金学」とすると意味が通じにくいため、標準的な「冶金学」を採用。
5. **mineralogi** / **矿物学** /
   * **選定理由:** 「矿物学」は「mineralogy」を指す定番の訳。
   * **学習コスト:** 「矿」「物」「学」。既出との重複が多く、追加負荷は少ない。
6. **numismat** / **钱币学家** /
   * **選定理由:** 「numismatist＝钱币学家」が標準的。日本語では「古銭学者」とも言うが、中国語では「钱币学家」が自然。
   * **学習コスト:** 「钱」「币」「学」「家」。新出の「钱」「币」だが、貨幣関連で意味を推測しやすく、「学」「家」は再利用。
7. **numismatik** / **钱币学** /
   * **選定理由:** 「numismatics＝钱币学」が定訳。
   * **学習コスト:** 「钱」「币」「学」はすでに上記(6)で登場。重複利用。
8. **paleografi** / **古文字学** /
   * **選定理由:** 「古文字学」は「paleography（古文書学・古文字学）」に相当する既存の専門用語。
   * **学習コスト:** 「古」「文」「字」「学」。いずれも基本的な漢字で、「古」は考古学等で再利用される。
9. **paleontologi** / **古生物学** /
   * **選定理由:** 中国語でも「古生物学」は「paleontology（古生物学）」として定着。「古＋生物＋学」で意味も推測しやすい。
   * **学習コスト:** 「古」「生」「物」「学」。すでに「古」「物」「学」は登場済み。「生」のみ新出だが「生活」「生物」など汎用性大。
10. **arkeologi** / **考古学** /
    * **選定理由:** 「考古学」は「archaeology」の定訳。
    * **学習コスト:** 「考」「古」「学」。画数もそれほど多くなく、「古」「学」は既出。「考」も日本語・中国語での意味把握は容易。
11. **arĥeologi** / **考古学** /
    * **選定理由:** 上と同じく「archaeology」。表記ゆれ（arkeologi/arĥeologi）だが意味は同一。
    * **学習コスト:** 同上。
12. **arkeolog** / **考古学家** /
    * **選定理由:** 「archaeologist＝考古学家」は中国語で一般的。「学家」の組み合わせで、専門家を示す形式。
    * **学習コスト:** 「考」「古」「学」「家」。いずれも既出の組合せ。
13. **arĥeolog** / **考古学家** /
    * **選定理由:** 同上（arĥeologはarkeologと同義）。
    * **学習コスト:** 同上。
14. **psikologi** / **心理学** /
    * **選定理由:** 「心理学」は「psychology」の定訳。日中ともに非常に広く知られている。
    * **学習コスト:** 「心」「理」「学」。うち「学」は既出。「心」「理」も「心理」「理解」「道理」など関連が多く学びやすい。
15. **psikolog** / **心理学家** /
    * **選定理由:** 「psychologist＝心理学家」が自然な訳。「心理学者」とも言うが、中国語では「学家」がよく用いられる。
    * **学習コスト:** 「心」「理」「学」「家」。全て既出の組合せ。
16. **antropolog** / **人类学家** /
    * **選定理由:** 「anthropologist＝人类学家」は標準訳。「人类学＋家」で学問＋専門家を示す。
    * **学習コスト:** 「人」「类」「学」「家」。新出は「类」(＝「類」の簡体)だが、「鸟类」「种类」などで応用範囲が広い。
17. **antropologi** / **人类学** /
    * **選定理由:** 「anthropology＝人类学」も同様に定訳。
    * **学習コスト:** 「人」「类」「学」。既出との組合せで追加負荷少。
18. **vivisekci** / **活体解剖** /
    * **選定理由:** 中国語では「vivisection」を「活体解剖」と表現するのが一般的。「生体解剖」も日本語的には通じるが、中国語としては「活体解剖」がより標準。
    * **学習コスト:** 「活」「体」「解」「剖」はどれも基礎漢字だが、新規4字。しかし他で代用が難しいため、やむを得ず標準訳を採用。
19. **zoologi** / **动物学** /
    * **選定理由:** 「zoology＝动物学」が中国語の定訳。
    * **学習コスト:** 「动」「物」「学」。うち「物」「学」は既出。「动」は「活动」「动作」などで頻出。
20. **entomologi** / **昆虫学** /
    * **選定理由:** 「entomology＝昆虫学」が一般的。「昆虫」は日中ともに意味が直感しやすい表現。
    * **学習コスト:** 「昆」「虫」「学」。新出は「昆」「虫」だが、いずれも常用度の高い字。
21. **ornitologi** / **鸟类学** /
    * **選定理由:** 「ornithology＝鸟类学」が定訳。「鸟类」は鳥の一群を意味し、日本語の「鳥類学」に相当。
    * **学習コスト:** 「鸟」「类」「学」。ともに既出または高頻度字（「鸟」は旧「鳥」の簡体）。
22. **etiologi** / **病因学** /
    * **選定理由:** 「etiology＝病因学」が専門用語として定番。日本語の「病原学」に近いが、厳密には「病因学(bìngyīnxué)」が最も対応が明確。
    * **学習コスト:** 「病」「因」「学」。いずれも基本的な字で、「学」は既出。
23. **patologi**
    * **提案:** 病理学
    * **理由:** 中国語において「病理学」は“pathology”に対応する一般的表現。
    * **学習コスト:** 「病」「理」「学」は頻出度が高く、他の語彙にも転用しやすい。
24. **biologi**
    * **提案:** 生物学
    * **理由:** 中国語で“biology”は「生物学」が標準的。
    * **学習コスト:** 「生」「物」「学」はいずれも高頻度の常用漢字であり、再利用しやすい。
25. **botanik**
    * **提案:** 植物学
    * **理由:** 中国語で“botany”は「植物学」。
    * **学習コスト:** 「植」「物」「学」はいずれも常用度が高く、他の単語にも流用可能。
26. **anatomi**
    * **提案:** 解剖学
    * **理由:** 中国語で“anatomy”は「解剖学」。
    * **学習コスト:** 「解」「剖」「学」はやや画数があるが、専門用語として広く認知されている。
27. **fizik**
    * **提案:** 物理学
    * **理由:** 中国語で“physics”は「物理学」。
    * **学習コスト:** 「物」「理」「学」はすでに他の語根(生物学、病理学など)とも共有しやすい。
28. **fiziologi**
    * **提案:** 生理学
    * **理由:** 中国語で“physiology”は「生理学」。
    * **学習コスト:** 「生」「理」「学」はいずれも既出(生物学や病理学など)なので学習コストを抑えられる。
29. **optik**
    * **提案:** 光学
    * **理由:** 中国語で“optics”は「光学」。
    * **学習コスト:** 「光」「学」は画数が少なく、他分野にも応用しやすい。
30. **estetik**
    * **提案:** 美学
    * **理由:** 中国語で“aesthetics”は「美学」が一般的。
    * **学習コスト:** 「美」「学」は比較的初級レベルで学びやすく、既出の「学」と組み合わせられる。
31. **balistik**
    * **提案:** 弹道学
    * **理由:** 中国語で“ballistics”は「弹道学」。
    * **学習コスト:** 「弹」「道」「学」はそれぞれ頻度の高い字で構成される（「弹」はやや画数中程度）。
32. **metrik**

* **提案:** 韵律学
* **理由:** 「韵律学」は漢語で“metrics(韻律学・韻律法)”を指す場合に使われる表現。
* **学習コスト:** 「韵」「律」「学」はそれぞれ常見の要素だが、「韵」はやや画数多め。ただし他の術語とのバッティングは少ない。

1. **fonetik**

* **提案:** 语音学
  + （注：日本語の「音声学」に相当するが、中国語では「语音学」が一般的）
* **理由:** 中国語で“phonetics”は「语音学」。
* **学習コスト:** 「语」「音」「学」はいずれも基本的な漢字で画数も比較的少ない。

1. **mikrob**

* **提案:** 微生物
* **理由:** 中国語で“microbe / microorganism”は「微生物」。
* **学習コスト:** 「微」「生」「物」は既出要素（生物学など）とも重なり、学びやすい。

1. **mikrometr**

* **提案:** 千分尺
  + （他に「测微计」「螺旋测微器」などもあるが、簡潔で比較的画数が少ない「千分尺」を採用）
* **理由:** 中国語で機械工具の「マイクロメータ(千分尺)」は「千分尺」が一般的名称。
* **学習コスト:** 「千」「分」「尺」はいずれも画数が少なく、多くの学習者にとって覚えやすい。

1. **mikroskop**

* **提案:** 显微镜
* **理由:** 中国語で“microscope”は「显微镜」。
* **学習コスト:** 「显」「微」「镜」は標準的な顕微鏡の呼称で、科学用語として頻出。

1. **miĥael**

* **提案:** 迈克尔
* **理由:** 英名 “Michael” に相当する一般的な音訳。
* **学習コスト:** 「迈」「克」「尔」は人名音訳で頻繁に登場するため、中国語学習者にも比較的馴染みがある。

1. **mirabel**

* **提案:** 米拉贝尔
  + （ミラベルという果実名に近い音訳。中国語には定訳があまり一般的でないため音訳を採用）
* **理由:** 「米拉贝尔」は音からの直音訳として分かりやすい。
* **学習コスト:** 人名・外来果物名などに共通する表記パターン（「米～」「～贝尔」など）は他の音訳にも転用可能。

1. **spirit/ism##**

* **提案:** 通灵术
* **理由:** “スピリチュアリズム（交霊術・降霊術）”の実践的呼称としては「通灵术」や「招魂术」などが使われるが、「通灵术」が比較的一般的。
* **学習コスト:** 「通」「灵」「术」はいずれも画数が少なく、他表現（例: 通气、灵魂、艺术など）と連動して覚えられる。

1. **spirit/ist##**

* **提案:** 灵媒
  + （「通灵师」でも可。ここではより短い「灵媒」を採用）
* **理由:** “霊媒”を意味する中国語としては「灵媒」が一般的。
* **学習コスト:** 「灵」「媒」は比較的使われる頻度のある漢字。

1. **muz**

* **提案:** 缪斯
* **理由:** “Muse(詩神)”は中国語でギリシャ神話の女神の音訳として「缪斯」が定着。
* **学習コスト:** 「缪」はやや画数多めだが、ギリシャ神話関連で広く知られている音訳。

1. **fetiĉ**

* **提案:** 物神
  + （宗教的意味合いのフェティッシュであれば「物神」が近く、日本語の「物神崇拝」に対応）
* **理由:** 中国語圏で原義の“宗教的崇拝対象”として捉える場合、「物神」は比較的ストレートな表現。
* **学習コスト:** 「物」「神」は共に基本的な漢字。

1. **spiritualism**

* **提案:** 唯心论
* **理由:** 哲学上の“唯心論”を表す中国語は「唯心论」。
* **学習コスト:** 「唯」「心」「论」はいずれも哲学・思想関連でよく登場する常用字。

1. **spiritualist**

* **提案:** 唯心论者
* **理由:** “唯心論者”は中国語で「唯心论者」。
* **学習コスト:** 「者」は人を表す常用字であり、「唯」「心」「论」とあわせて覚えやすい。

1. **medium（霊媒）**
   * **提案:** 「灵媒」
   * **理由:** 現代中国語で「霊媒」の意味を最も直接的に表す熟語。「灵」は「霊」、「媒」は「媒介・仲立ち」の意。
   * **学習コスト:** 2文字だが、ともに比較的基本的な漢字であり、日本語話者にとっても「霊媒」のイメージと対応しやすい。
2. **teism（有神論）**
   * **提案:** 「有神论」
   * **理由:** 中国語で「theism」を表す標準的な訳語。
   * **学習コスト:** 「神」「论」は後続する「神学」「神化」でも用いられるため使い回しが効く。
3. **teologi（神学）**
   * **提案:** 「神学」
   * **理由:** 中国語で「theology」を指す基本的・典型的な語。
   * **学習コスト:** 「神」はすでに2番(teism)でも登場。画数自体は多くないので、重複利用による負担減が期待できる。
4. **indiga（[化]インジゴ）**
   * **提案:** 「靛」
   * **理由:** 「靛」は中国語で「インジゴ（藍藍色素の一種）」を指す単字として用いられる。
   * **学習コスト:** 1文字で済むが、やや専門的な色名用漢字。ただし5番(indigo)でも同じ文字を使い回すことで重複を回避できる。
5. **indigo（[化]インジゴ）**
   * **提案:** 「靛」
   * **理由:** 4番と同じく「インジゴ」を指す単字。「indiga」と同義のため同一文字で対応可能。
   * **学習コスト:** 4番と同じ文字なので新規漢字は増えず。
6. **anagram（アナグラム）**
   * **提案:** 「变位词」
   * **理由:** 中国語で「anagram」を比較的わかりやすく表現する一般的な言い方。「字谜」は単なる“文字パズル・謎”の意味が強く、厳密には異なるためこちらを推奨。
   * **学習コスト:** 3文字だが、いずれも比較的基本的な語彙。
7. **monogram（モノグラム）**
   * **提案:** 「字母组合」
   * **理由:** 文字を重ね合わせた図案を指すには「字母组合」が無難。厳密には「合字」「连字」等の用語もあるが、「monogram」のイメージを広く伝えるならこちら。
   * **学習コスト:** 4文字だが、いずれも頻出度が高い漢字。
8. **apopleksi（卒中/脳卒中）**
   * **提案:** 「中风」
   * **理由:** 中国語で「脳卒中」を意味する日常的・簡明な表現。医学的には「脑卒中」もあるが、画数・文字数が増えるので「中风」で十分通じる。
   * **学習コスト:** 2文字とコンパクト。よく使われる漢字なので負担は比較的小さい。
9. **paroksism（[医]激発・発作）**
   * **提案:** 「发作」
   * **理由:** 発作・急な症状の勃発を意味し、医学的にも一般にも通用する表現。
   * **学習コスト:** 2文字。「发」は使用頻度が高い字。
10. **anapest（[詩]短短長格）**

* **提案:** 「抑抑扬格」
  + （参考：英語の詩形で「anapest」は「短短長格」の意。中国語圏では「抑抑扬格」と呼ぶことが多い）
* **理由:** 「抑抑扬格」が、中国語の詩学で“三音節で後ろに強勢が来る定型”を指す最も近い呼称。
* **学習コスト:** 4文字とやや長いが、専門用語ゆえ妥協点。

1. **antitez（アンチテーゼ）**

* **提案:** 「对立」
* **理由:** 中国語で「対立」「対置」を表す基本的な語。修辞上の「対偶」「对仗」とは少し意味合いが違うが、一般的な「antithesis=対立構造」としては「对立」が手頃。
* **学習コスト:** 2文字と簡潔。

1. **mani（マニア／熱狂・狂気）**

* **提案:** 「狂」
* **理由:** 「狂」は「狂気・熱狂」を含意する基本漢字。医学的「躁狂症（マニア症）」の要素を簡略化し、一字で示す。
* **学習コスト:** 1文字で、以降のfanatik（狂热）やlunatik（狂人）等でも「狂」を使い回し可能。

1. **superstiĉ（迷信）**

* **提案:** 「迷信」
* **理由:** 日中ともに「superstition」を指すごく一般的な単語。
* **学習コスト:** 2文字だが、常用語なので意味把握は容易。「信」は後述の“狂信”などにも使い回せる余地がある。

1. **fanatik（狂信的／狂信者）**

* **提案:** 「狂热」
* **理由:** 「fanatical」を表す中国語として最もポピュラーな言い方の一つ。「狂热分子」で「狂信者」の意になることも多い。
* **学習コスト:** 「狂」は12番で既出。「热」は常用漢字で汎用性がある（熱意・熱量など）。

1. **bigot（狂信者／偏狭な信者）**

* **提案:** 「偏执」
  + （さらに強調したければ「偏执者」）
* **理由:** 「偏执」は「偏った執念・偏見に凝り固まる」ニュアンスで、「bigot」の頑迷・偏狭な信念を表しやすい。
* **学習コスト:** 新規2文字だが、ともに中～高頻度の字。

1. **lunatik（精神病者／狂人）**

* **提案:** 「狂人」
* **理由:** 文字通り「狂った人」を指す語で、日常的にも「lunatic」の意味合いが伝わりやすい。
* **学習コスト:** 「狂」はすでに既出。「人」は最も基本的な漢字の1つで汎用性が高い。

1. **somnambul（夢遊病／夢遊者）**

* **提案:** 「梦游」
* **理由:** 中国語で「夢遊（＝夢遊病、睡眠中に歩き回る）」を表す最も直接的な2文字。
* **学習コスト:** 2文字だが、いずれも比較的よく見る漢字。

1. **idiot（[医]白痴）**

* **提案:** 「白痴」
* **理由:** 医学的・正式な「精神遅滞／痴愚」を指すときに使われる単語。口語で「傻子」もあるが、ニュアンスがやや違う。
* **学習コスト:** 新規2文字だが、医学関連としては比較的よく登場する表現。

1. **paraliz（医麻痺させる）**

* **提案:** 「麻痹」
* **理由:** 「マヒする／させる」ニュアンスで広く使われる。「瘫痪（=完全に動かなくなる）」よりも字数が少なく広い意味に対応。
* **学習コスト:** 2文字。いずれも医療文脈で頻出。

1. **spasm（[病]けいれん）**

* **提案:** 「抽搐」
* **理由:** 日常的にも医学的にも「痉挛」とほぼ同義だが、こちらのほうが口語でもよく使われる。「けいれん全般」を指す。
* **学習コスト:** 2文字。

1. **hipnot（[医]催眠）**

* **提案:** 「催眠」
* **理由:** 最も直接的な「催眠（hypnosis）」の表現。
* **学習コスト:** 2文字でありながら中国語学習者にもよく出る基本単語。

1. **apoteoz（神格化／神化）**

* **提案:** 「神化」
* **理由:** 「apotheosis（神格化）」を簡潔に表す熟語。ほかに「封神」「神格化」などもあるが、2文字の「神化」が最もシンプル。
* **学習コスト:** 2文字。「神」は2番・3番でもすでに活用。